

奈良県の先生の働き方調査 報告書

令和元(2019)年7月公表
奈良県立教育研究所
奈良県教育委員会事務局教職員課

目的と実施概要

I. 目的

- 奈良県教員の働き方の課題を可視化して把握すること

II. 調査方法

- アンケート画面URL送信によるWebアンケート

III. 対象者

- 回答者：2,328人

IV. 集計対象データ

- 2019年1月30日 ~ 2019年2月25日

属性別回答数一覧

	全回答者	部活顧問		役職			担当の有無 (学年主任、〇〇部長など)		担任		
		顧問あり	なし	管理職	常勤の教員	非常勤の教員	担当している	していない	主担任	副担任	していない
小学校	932	87	845	142	767	23	503	429	524	37	371
中学校	545	435	110	91	439	15	276	269	208	109	228
義務教育学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等学校 (全日制)	623	572	51	42	578	3	160	463	267	184	172
高等学校 (定時制・通信制)	31	24	7	5	26	0	10	21	17	6	8
中等教育学校	2	2	0	0	2	0	1	1	0	2	0
特別支援学校	194	8	186	12	175	7	42	152	63	92	39
その他	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0
合計	2,328	1,128	1,200	292	1,988	48	992	1,336	1,079	431	818

全体集計の結果概要

全回答者

時間の 使い方	勤務状況	学校滞在:10時間45分 年間休暇日数:81.9日
	自分の時間の使い方	自己学習の時間が足りない
	減らしたい業務	①事務・報告書作成 ②会議・打合せ ③保護者対応
	力を入れたい業務	①授業や学級活動の準備 ②学習指導 ③学校経営
スキル習得・ 情報共有	困っていること	研修・勉強の機会がとれない
	情報共有の要望	校務全般:手順、各種書式のひな型 生徒情報:家庭の状況、指導の履歴
ICT	おもな業務機器	①学校管理のパソコン ②私物のスマートフォン
	校務システムへの期待	異動時の負担が軽減されること
	ICT活用への不安	情報の漏洩
教職への 思い/ 改革意識	教職への思い	やりがいがある、誇りをもっている、 ただし、若い人に勧めたいといえない
	改革意識	働き方を変えたい 83%
	改善が難しい原因	事務量の多さ
	意見・要望	教員を増やしてほしい

属性別の結果概要

属性別

部活動顧問

勤務時間外の部活動・クラブ活動		運動部の主顧問が特に長い（58時間/月）
部活動への考え方		部活動に力を入れたい 27%
部活動に 力を入れたい 顧問の特徴	時間の使い方	部活動の時間が長い / 成績・評価に関する時間が短い
	セキュリティリスク	私物機器・個人向けサービスの校務での利用率が高い
	改革意識	やや低い
	代表的コメント	部活動は生徒との大切なつながり、部活動指導は教員の仕事

管理職

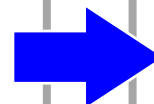
力を入れたい業務	学校経営（校務分掌に関すること）
負担となっている業務	学校外（PTA・地域・行政・関係団体）の対応
校務システムへの期待	期待が高い

1日の生活リズム

全回答者

通常の勤務時間に対して

- 学校に来るのは **平均 56分前**
- 学校を出るのは **平均 2時間4分後**

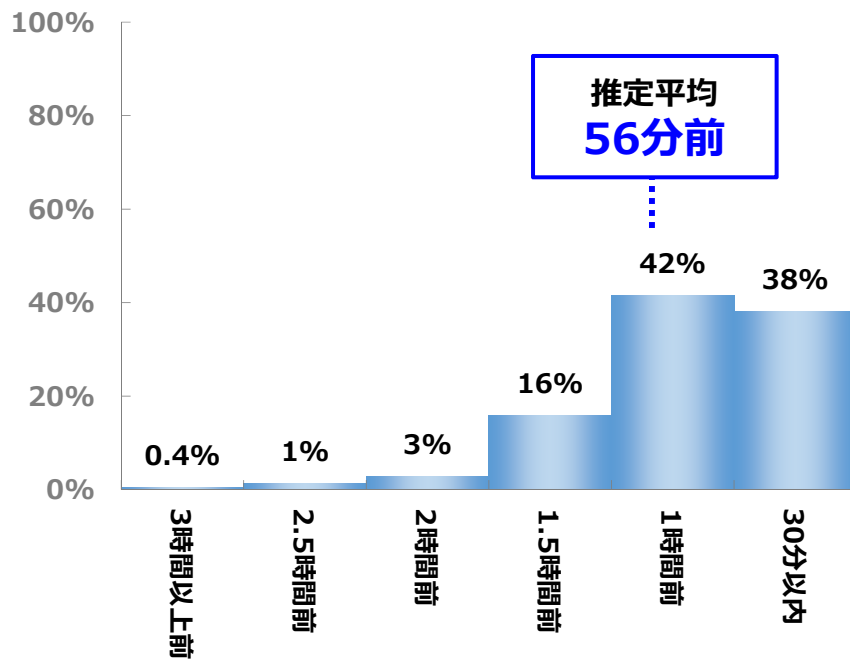


$$\begin{aligned}
 & \boxed{\text{【前】}} \quad \boxed{\text{【勤務時間】}} \quad \boxed{\text{【後】}} \\
 & 56\text{分} \quad + \quad 7\text{時間}45\text{分} \quad + \quad 2\text{時間}4\text{分} \\
 & = \text{学校滞在時間 } 10\text{時間}45\text{分}
 \end{aligned}$$

ここでは、非常勤の教員を考慮していません

どのくらい前に学校にくるか

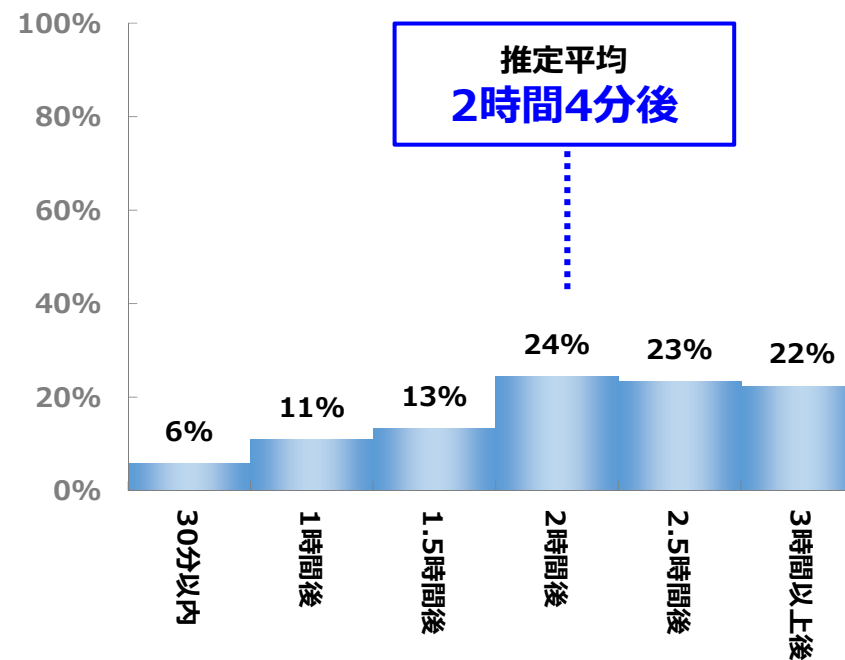
Q. 通常の勤務時間開始よりどのくらい前に学校にきていますか。



n=2328

どのくらい後に学校を出るか

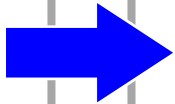
Q. 通常の勤務時間終了からどのくらい後に学校を出ていますか。



休暇の取得状況

全回答者

- 土日・祝日に休める日の割合 平均 **63%**
- 有給休暇の取得日数 平均 **8.5日**



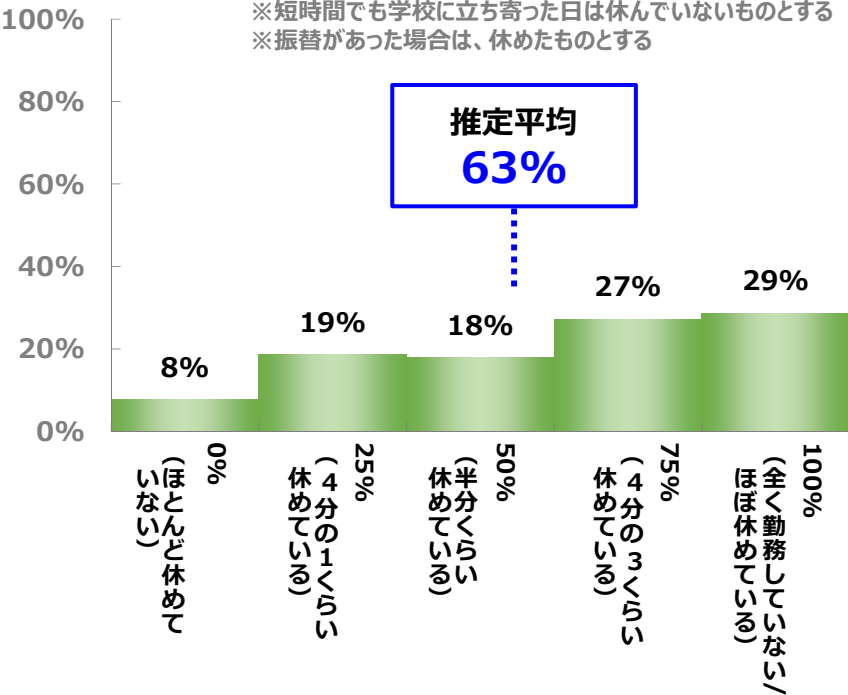
年間の休暇日数
81.9日

参考：企業労働者 平均 113.7日
(厚生労働省「平成 29 年就労条件総合調査」より)

※1年の土日祝日を2018年の117日として算出

土日・祝日

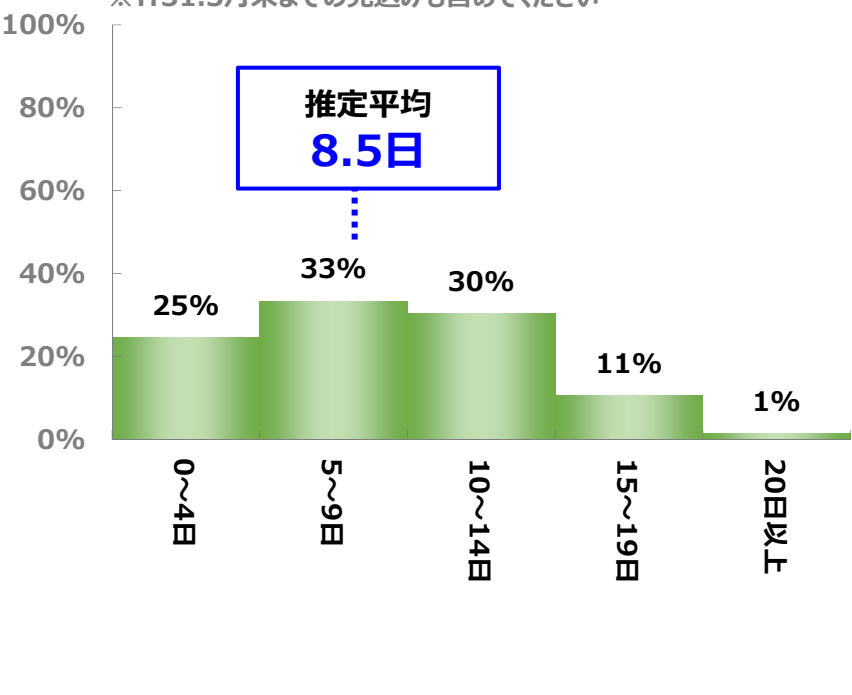
Q. あなたは、土日・祝日にどれくらい休めていますか。今年度4月から今日までの実績をお答えください。



n=2328

有給休暇

Q. あなたは、年次有給休暇をどれくらいとれていますか。今年度4月からの実績に該当するものをお答えください。



出展) 厚生労働省「平成 29 年就労条件総合調査」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/jikan/syurou/17/dl/gaikyou.pdf>

長時間になっている教育活動

全回答者

勤務時間内

1位

授業や学級活動の準備

2位

学校経営

3位

会議・打合せ

勤務時間外

1位

授業や学級活動の準備

2位

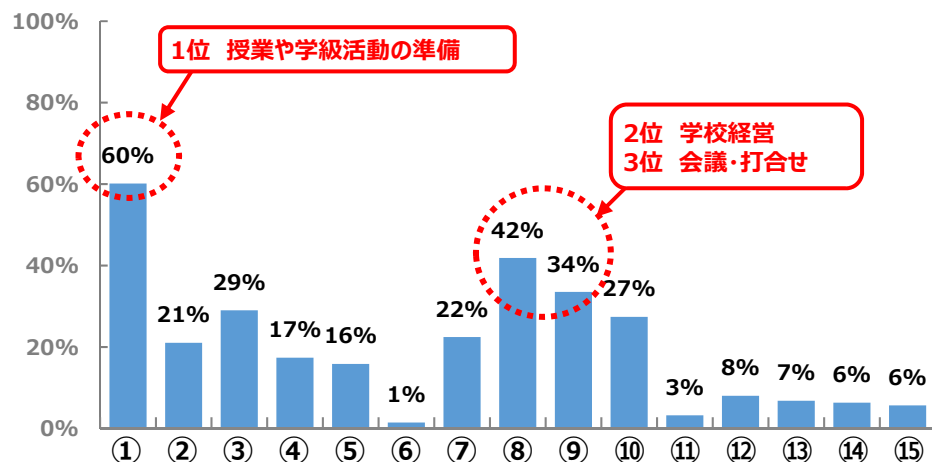
学校経営

3位

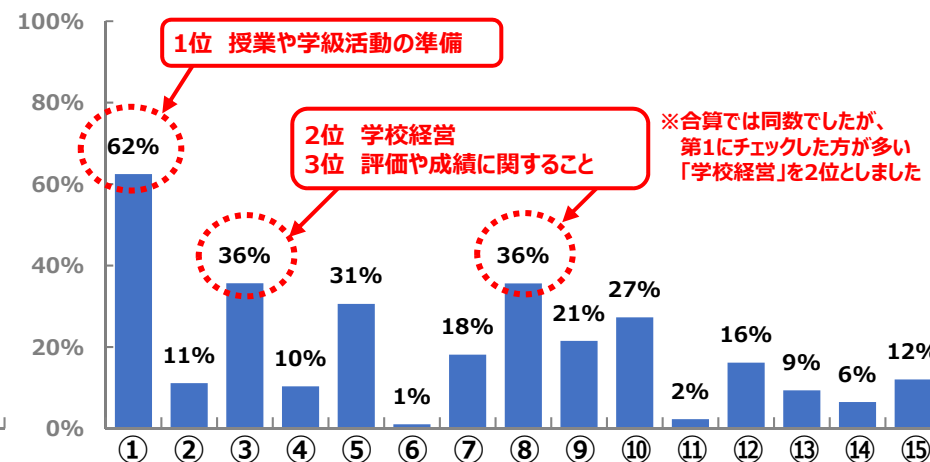
評価や成績に関すること

Q. 授業以外の教育活動で、かけている時間が長いものを上位3つまでお答えください。

勤務時間内



勤務時間外



- ①授業や学級活動の準備（教材研究等） ②学習に関する指導 ③評価や成績に関すること（採点等を含む） ④生活指導・生徒指導
 ⑤部活動・クラブ活動 ⑥児童会・生徒会指導 ⑦学年・学級事務（連絡帳の確認、学級通信等の作成等） ⑧学校経営（校務分掌に関すること）
 ⑨会議・打合せ ⑩事務・報告書作成 ⑪校内研修 ⑫保護者対応 ⑬PTA・地域・行政・関係団体対応 ⑭校外出張 ⑮その他

n=2328

負担感がある・減らしたい教育活動

全回答者

負担感がある 減らしたい ともに

1位

事務・報告書作成

2位

会議・打合せ

3位

保護者対応

参考：企業調査データ ※

【時間を減らしたい活動 Top3】

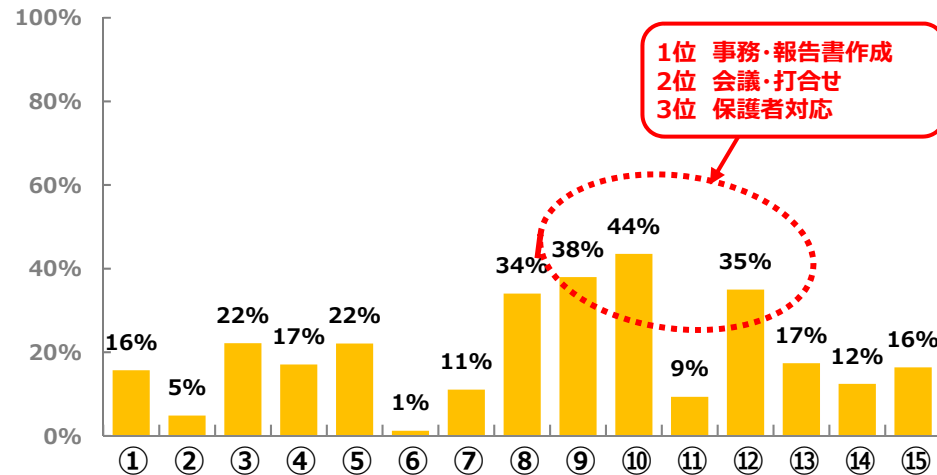
1位：社内向けの資料作成

2位：社内会議

3位：移動時間

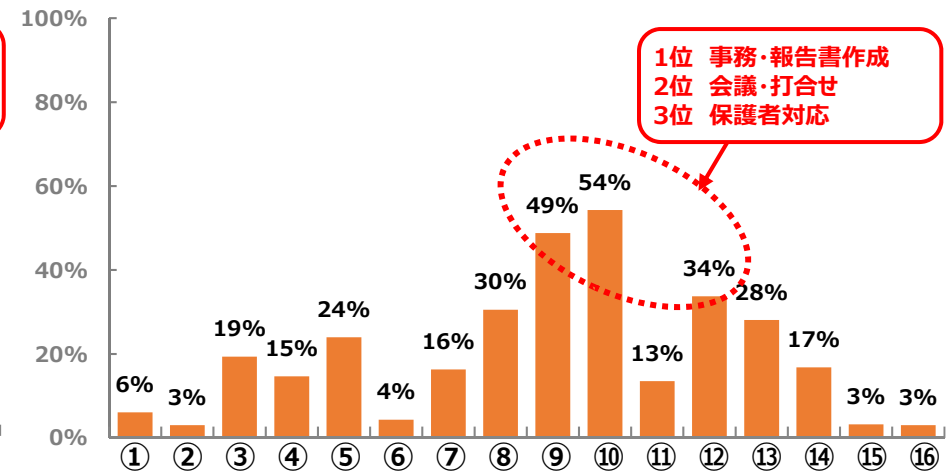
負担感がある教育活動

Q. 授業以外で、負担を感じている教育活動を上位3つまでお答えください。



時間を減らしたい教育活動

Q. 負担や時間を減らしたいと思う教育活動をすべてお選びください。(いくつでも)



- ①授業や学級活動の準備 (教材研究等) ②学習に関する指導 ③評価や成績に関すること (採点等を含む) ④生活指導・生徒指導
 ⑤部活動・クラブ活動 ⑥児童会・生徒会指導 ⑦学年・学級事務 (連絡帳の確認、学級通信等の作成等) ⑧学校経営 (校務分掌に関すること)
 ⑨会議・打合せ ⑩事務・報告書作成 ⑪校内研修 ⑫保護者対応 ⑬PTA・地域・行政・関係団体対応 ⑭校外出張 ⑮その他 ⑯特になし

n=2328

※企業調査データは、弊社独自調査「働き方調査2017」より「教育・学習支援 業種」を集計 (n=124)

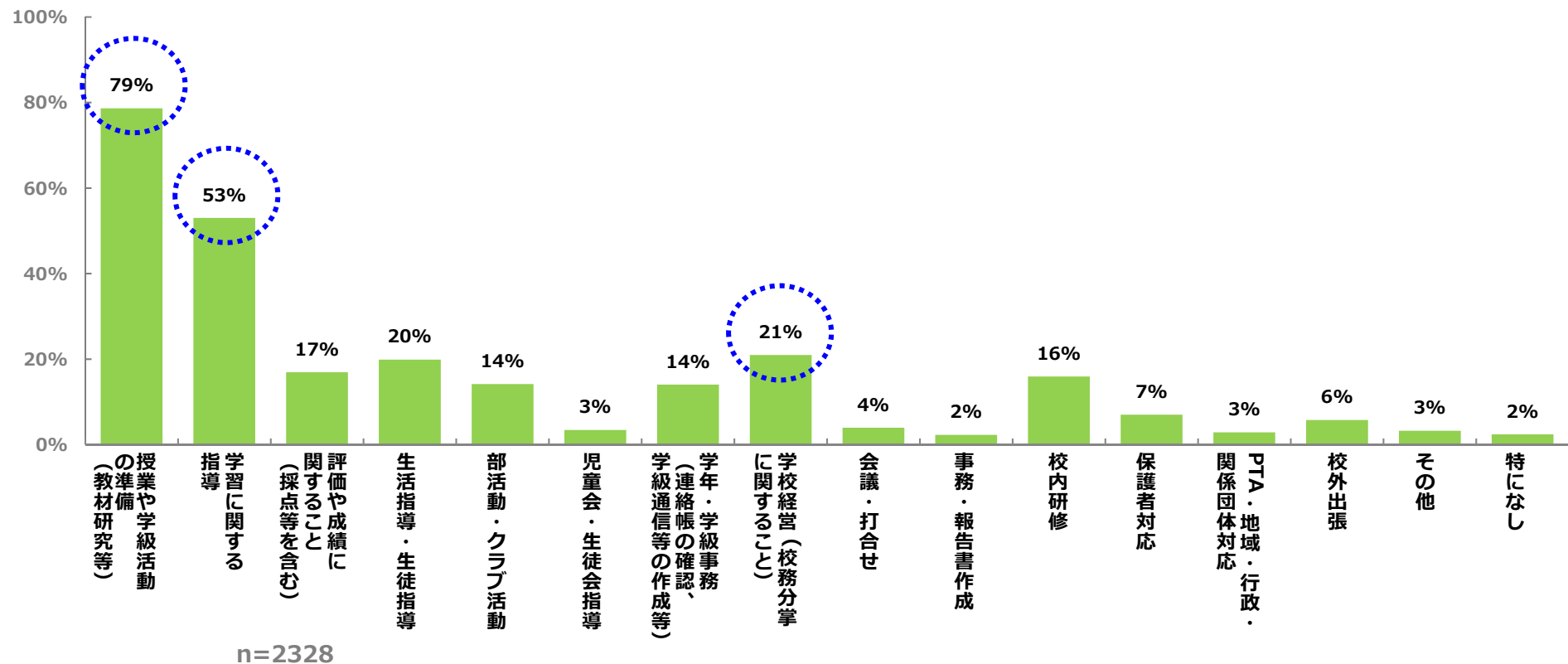
力を入れたい教育活動

全回答者

上位の活動

1位	授業や学級活動の準備（教材研究等）	79%
2位	学習に関する指導	53%
3位	学校経営（校務分掌等に関すること）	21%

Q. あなたが力を入れたい、もっと時間をかけたいと思う教育活動をすべてお選びください。（いくつでも）

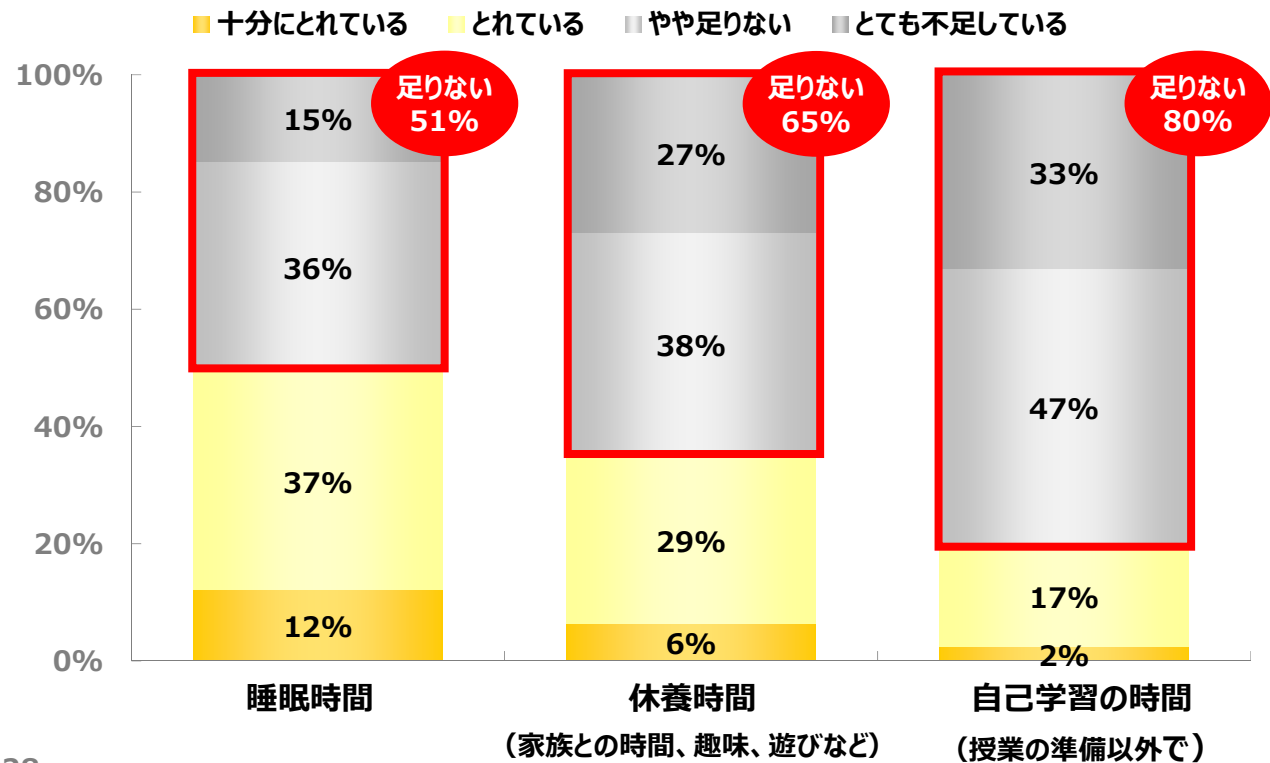


自分の時間の使い方

全回答者

- **すべての項目について、時間が不足している** **過半数**
- 特に不足している時間
- **自己学習の時間** **80%**

Q. あなた自身の時間の使い方についてどのように感じていますか。



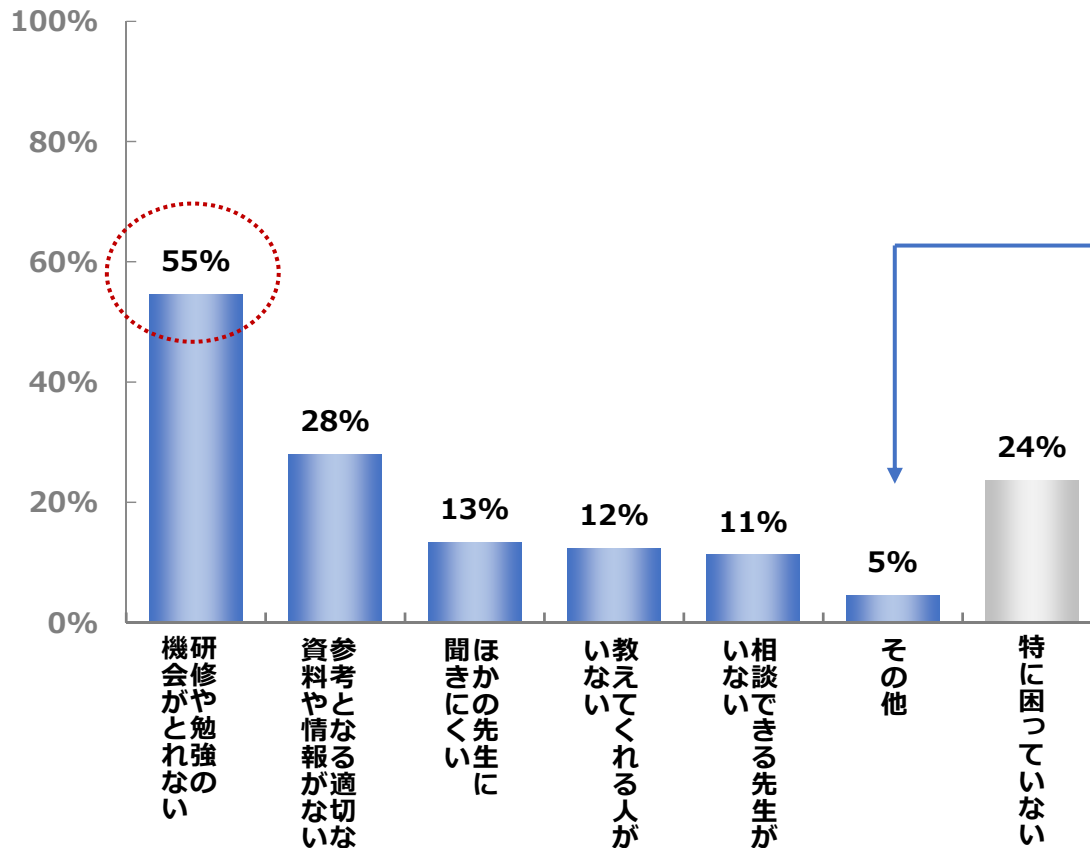
n=2328

教員としてのスキル習得で困ったこと

全回答者

➤ **研修や勉強の機会がとれない** **55%**

Q. あなたが各種スキルを身に付けるときに、困っていることをすべてお選びください。(いくつでも)



n=2328

※全69コメントから抜粋

その他

【時間がとれない】

- 先生方に聞きたいがこちらも、むこうも時間がない
- 採点などがあるため、空き時間に他のクラスの授業を見学できない
- 研修したくても時間がない。また、参加したい研修会は奈良県にない

【どうすればいいかわからない】

- どのようなスキルが必要なのか気づいていないことが多い
- 身に付けたといえるゴールが分からない
- 様々な意見がありどれを参考にしたら良いのかわからない
- 答えがないので、常に手探り

【職場の雰囲気・人間関係】

- 職場が向上心がない雰囲気
- 今の学校に尊敬できる年配教員がいない
- 妨害する上司がいて誹謗中傷のターゲットになるため。パワハラ、モラハラを日常的に受けてきたため、萎縮して何もできない。させないように仕向けられている

【環境・費用】

- 充実した図書館が遠くにあつて退勤後に行けない
- 本を購入するお金がない
- 効果の高い研修会にはお金がかかるが、個人負担になることが多いため、参加しにくい

教員としてのスキル習得の手段

全回答者

おもな習得の手段

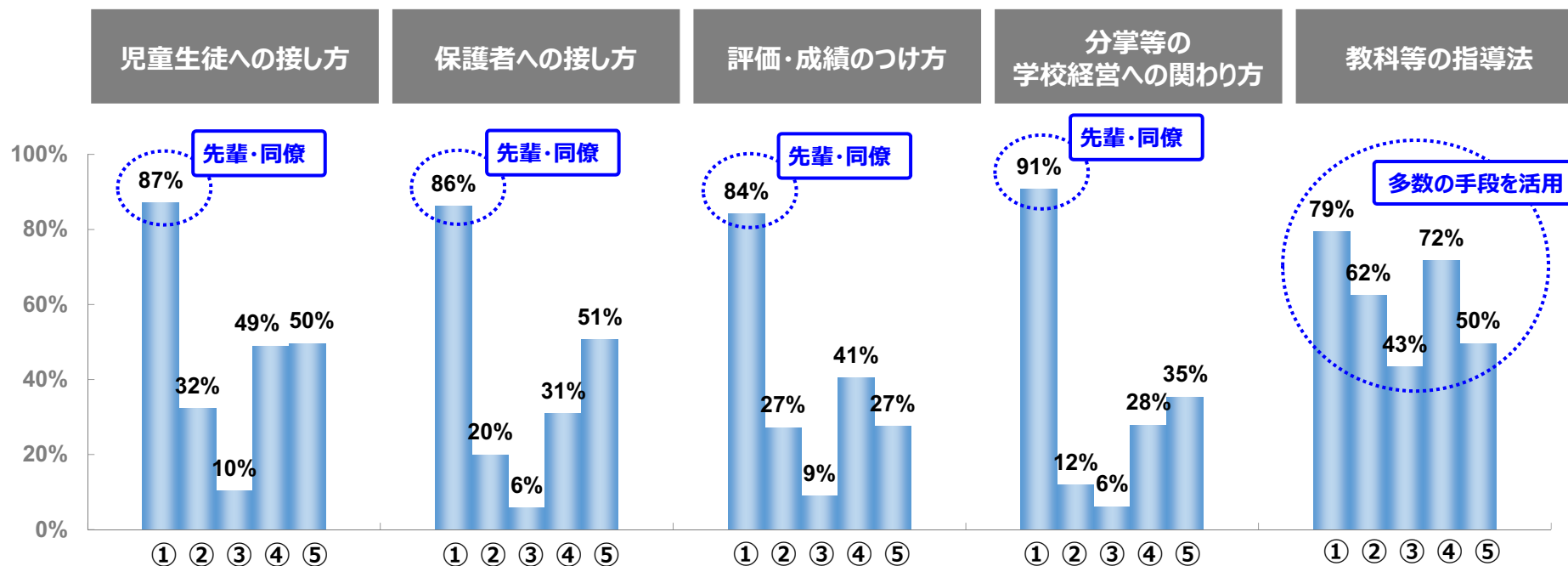
➤ 全般

➤ 教科等の指導法

先輩・同僚が中心

先輩・同僚、研修会・勉強会、本 など

Q. 各種スキルについて、あなたが身に付けた方法をすべてお選びください。(いくつでも)



①先輩・同僚 ②本 ③インターネット ④研修会・勉強会等 ⑤見よう見まね (自己流)

n=2328

校務全般で情報共有を強化してほしいこと

全回答者

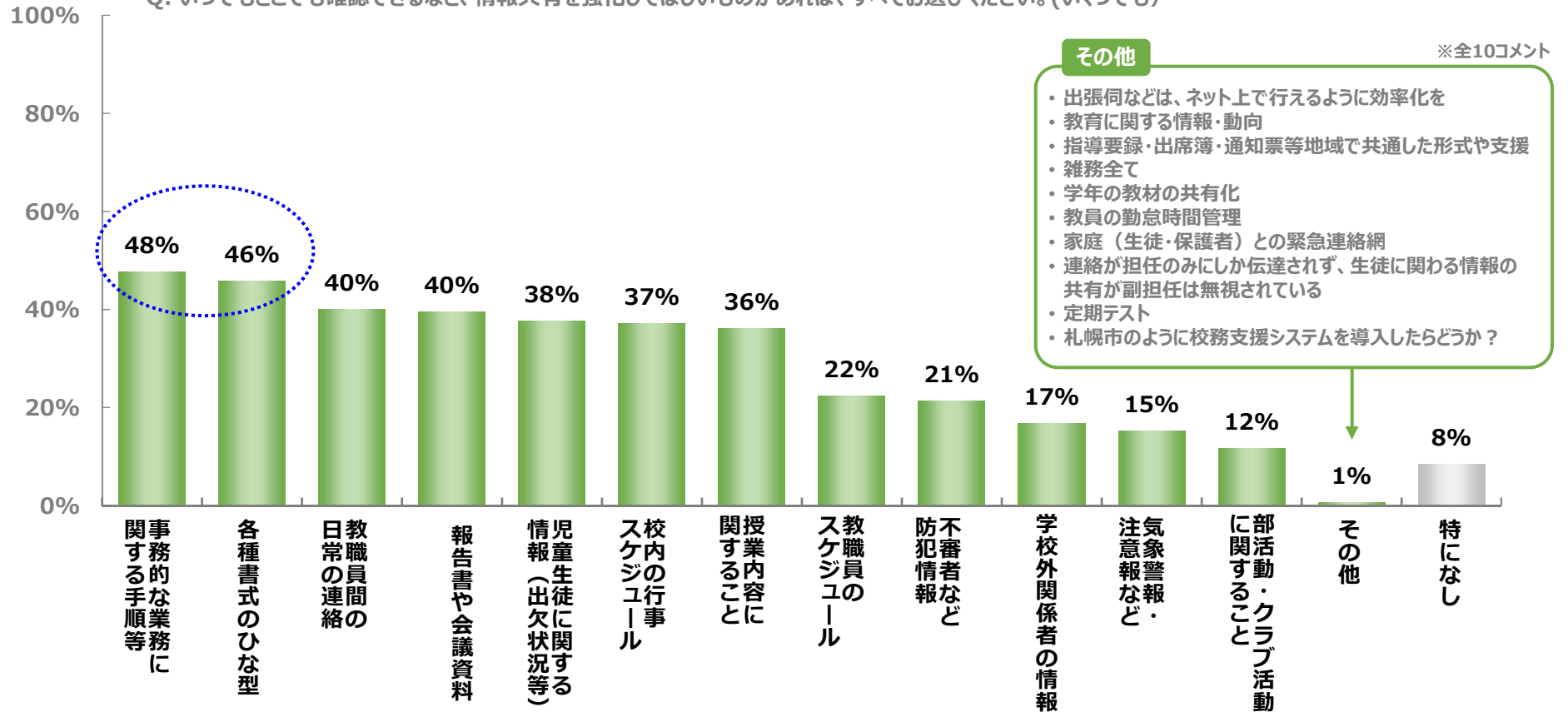
- 事務的な業務に関する手順書 **48%**
- 各種書式のひな型 **46%**

参考：企業調査データ ※

【共有してほしい情報 Top3】

1位：社内報告や会議資料
 2位：業務の手順・マニュアル
 3位：各種書式、テンプレート

Q. いつでもどこでも確認できるなど、情報共有を強化してほしいものがあれば、すべてお選びください。(いくつでも)



n=2328

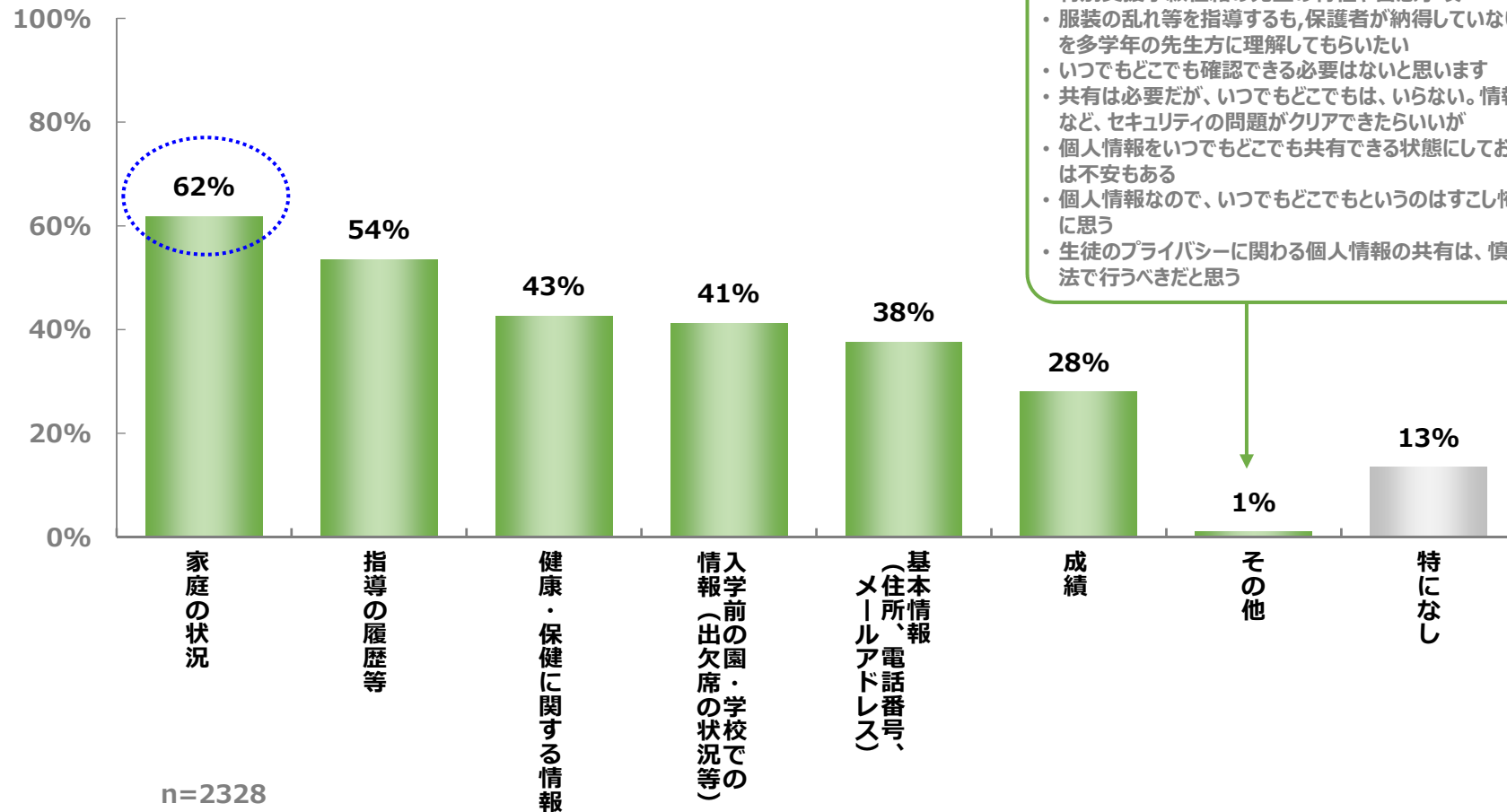
※企業調査データは、弊社独自調査「働き方調査2017」より「教育・学習支援 業種」を集計 (n=124)

生徒の情報で情報共有を強化してほしいこと

全回答者

- 家庭の状況 62%
- 指導の履歴等 54%

Q. いつでもどこでも確認できるなど、情報共有を強化してほしいものがあれば、すべてお選びください。(いくつでも)



その他

※全9コメント

- ・指導要録の電子化
- ・各クラスでおこっている事象についての共有情報はない
- ・特別支援学級在籍の児童の特性や留意事項
- ・服装の乱れ等を指導するも、保護者が納得していない状況を多学年の先生方に理解してもらいたい
- ・いつでもどこでも確認できる必要はないと思います
- ・共有は必要だが、いつでもどこでもは、いけない。情報漏洩など、セキュリティの問題がクリアできたらいいが
- ・個人情報いつでもどこでも共有できる状態にしておくことには不安もある
- ・個人情報なので、いつでもどこでもというのはすこし怖いように思う
- ・生徒のプライバシーに関わる個人情報の共有は、慎重な方法で行うべきだと思う

校務に利用している情報機器

全回答者

おもな利用機器

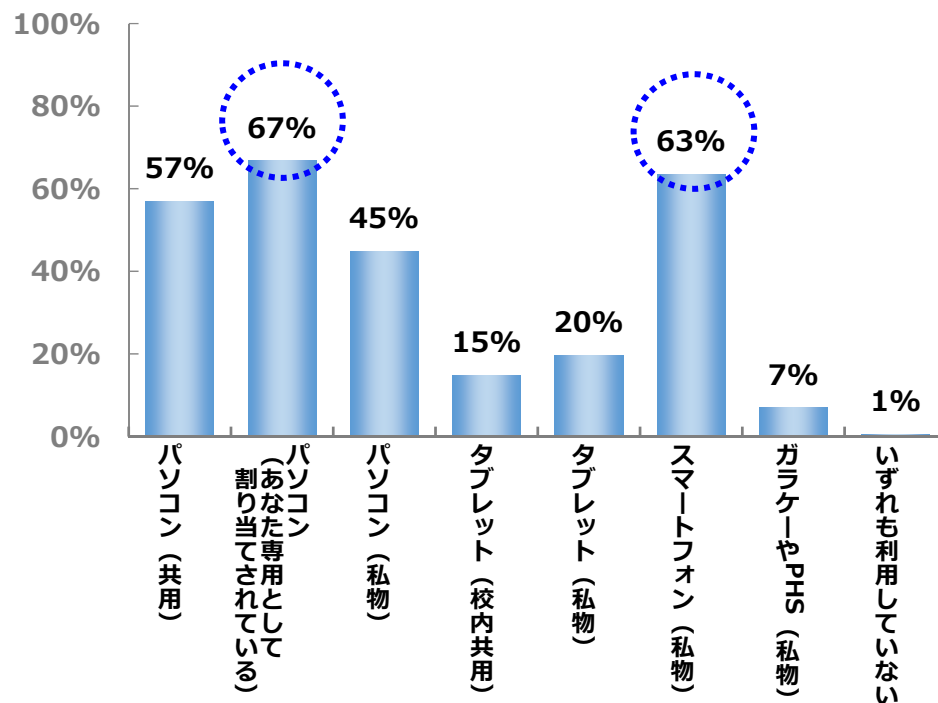
- **パソコン（専用に割り当て）** 67%
- **スマートフォン（私物）** 63%

参考：企業調査データ ※

パソコン支給率	77%
私物スマートフォンの業務利用率	42%

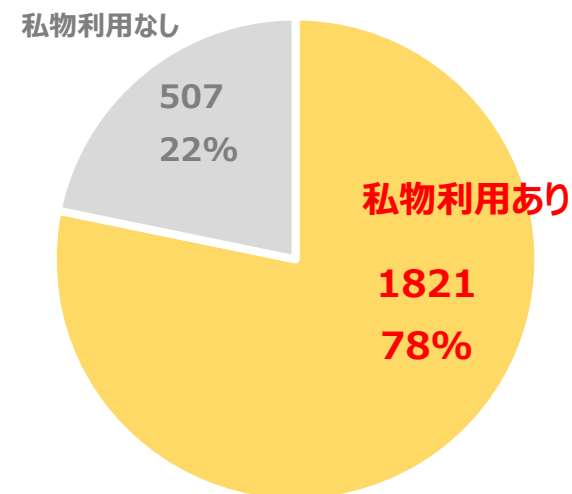
校務に利用している情報機器

Q. 校内・校外を問わず、現在校務（児童生徒や家庭との連絡も含む）で利用しているICT機器をすべてお選びください。（いくつでも）



n=2328

私物の情報機器の利用率



※企業調査データは、弊社独自調査「働き方調査2017」より「教育・学習支援 業種」を集計（n=124）

私物の情報機器の用途

私物利用者

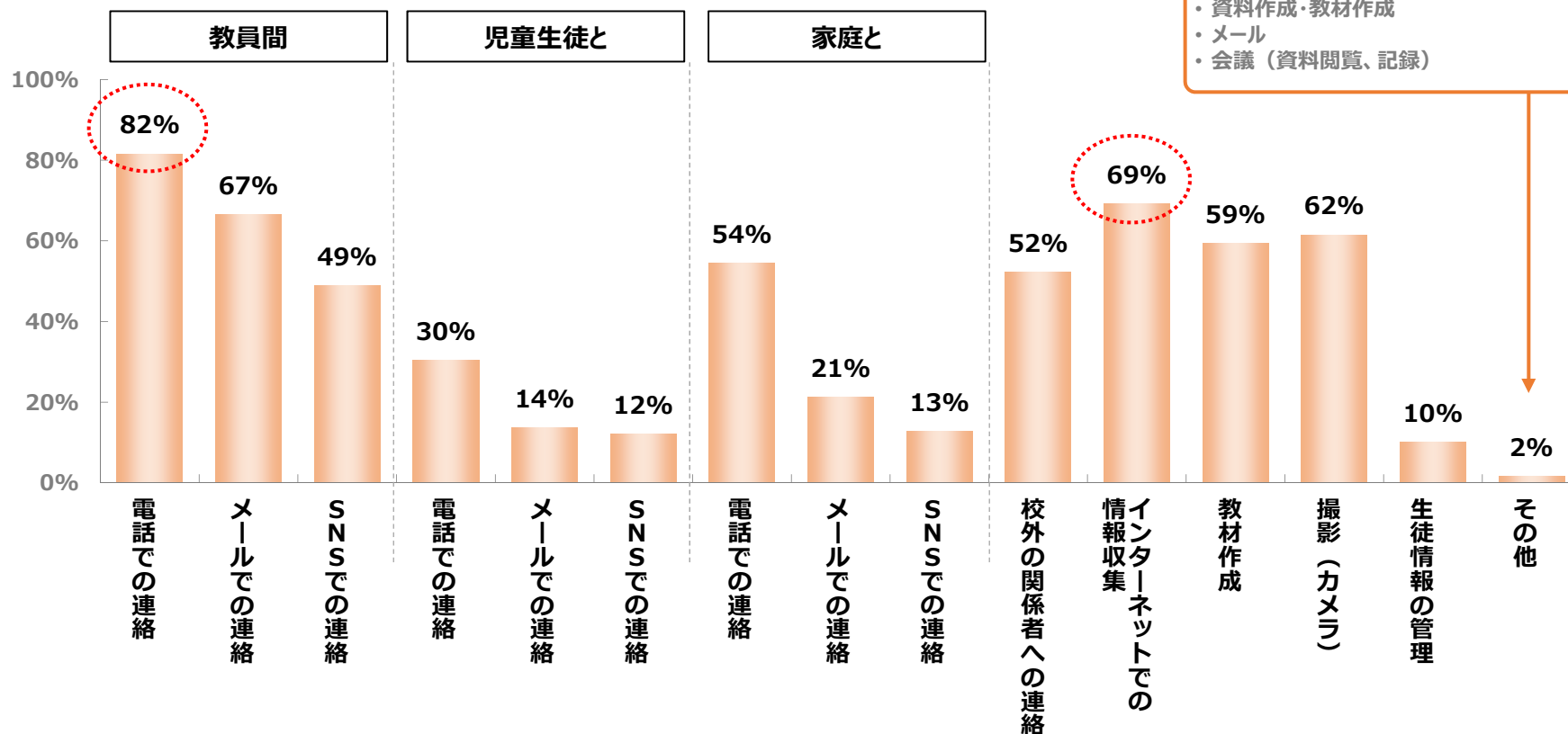
- 電話での連絡（教員間） **82%**
- インターネットでの情報収集 **69%**

参考：企業調査データ ※

【私物機器の用途 Top3】

- 1位：社内コミュニケーション
- 2位：情報収集
- 3位：社外コミュニケーション

Q. 私物の機器を校務で利用する際の内容をすべてお選びください。(いくつでも)



その他コメントの傾向

- ・動画・音楽・資料の投影など授業での活用
- ・資料作成・教材作成
- ・メール
- ・会議（資料閲覧、記録）

n=1821（私物利用者）

※企業調査データは、弊社独自調査「働き方調査2017」より「教育・学習支援 業種」を集計（n=124）

個人向けサービスの利用状況

全回答者

コミュニケーション

個人のメールアドレス

46%

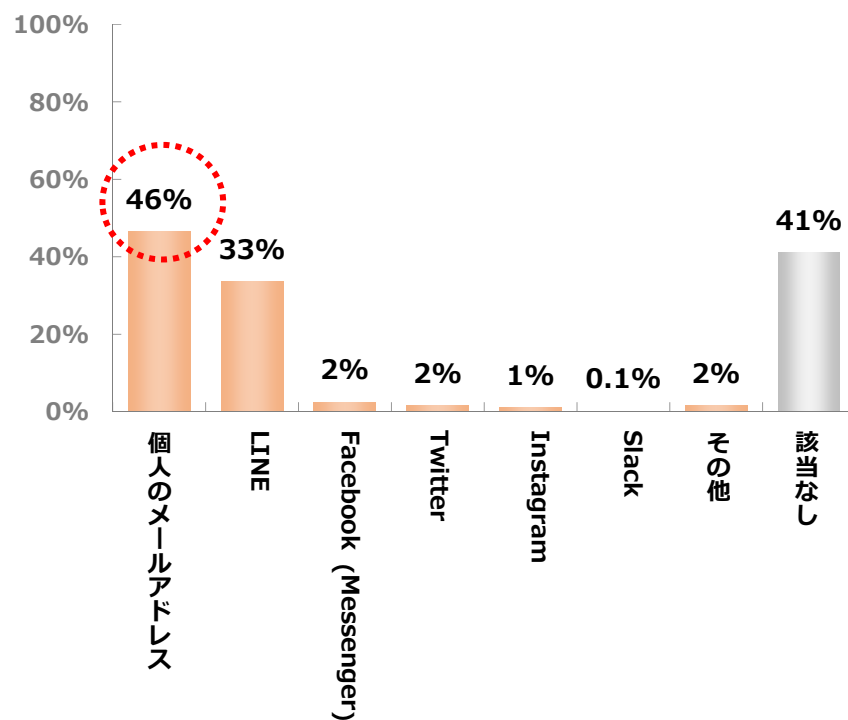
ファイル保存・共有

該当なし

71%

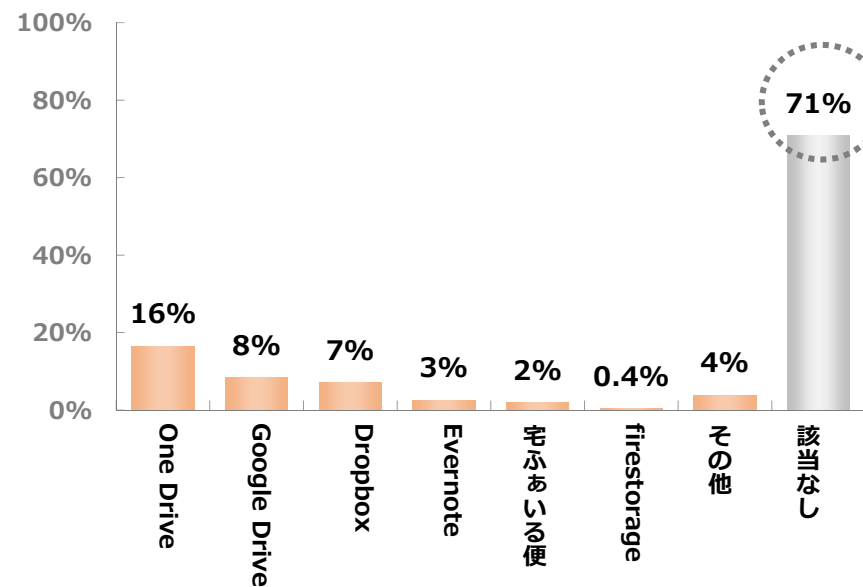
Q. 個人のアカウントで業務に活用しているものがあればすべてお選びください。(いくつでも)

コミュニケーション関連サービス



n=2328

ファイル保存・共有 関連サービス

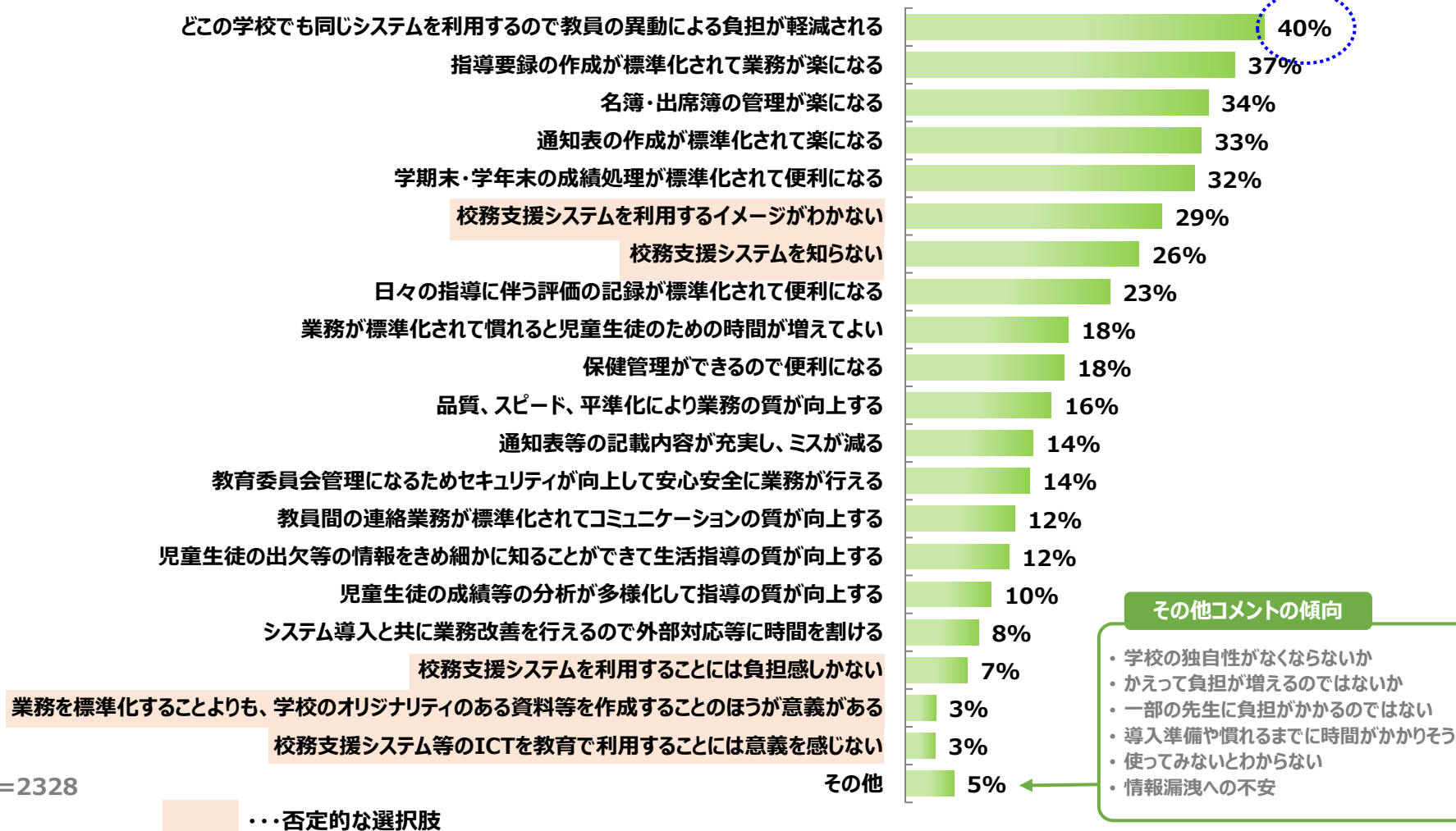


統合型校務支援システムへの期待・不安

全回答者

➤ 同じシステムを利用することで異動時の負担が軽減される **40%**

Q. 現在、奈良県では、奈良県内のすべての公立学校で統一して利用する統合型校務支援システムの導入を推進しています。学校を超えて帳票などを標準化して活用していくことについてどのように感じますか。(いくつでも)



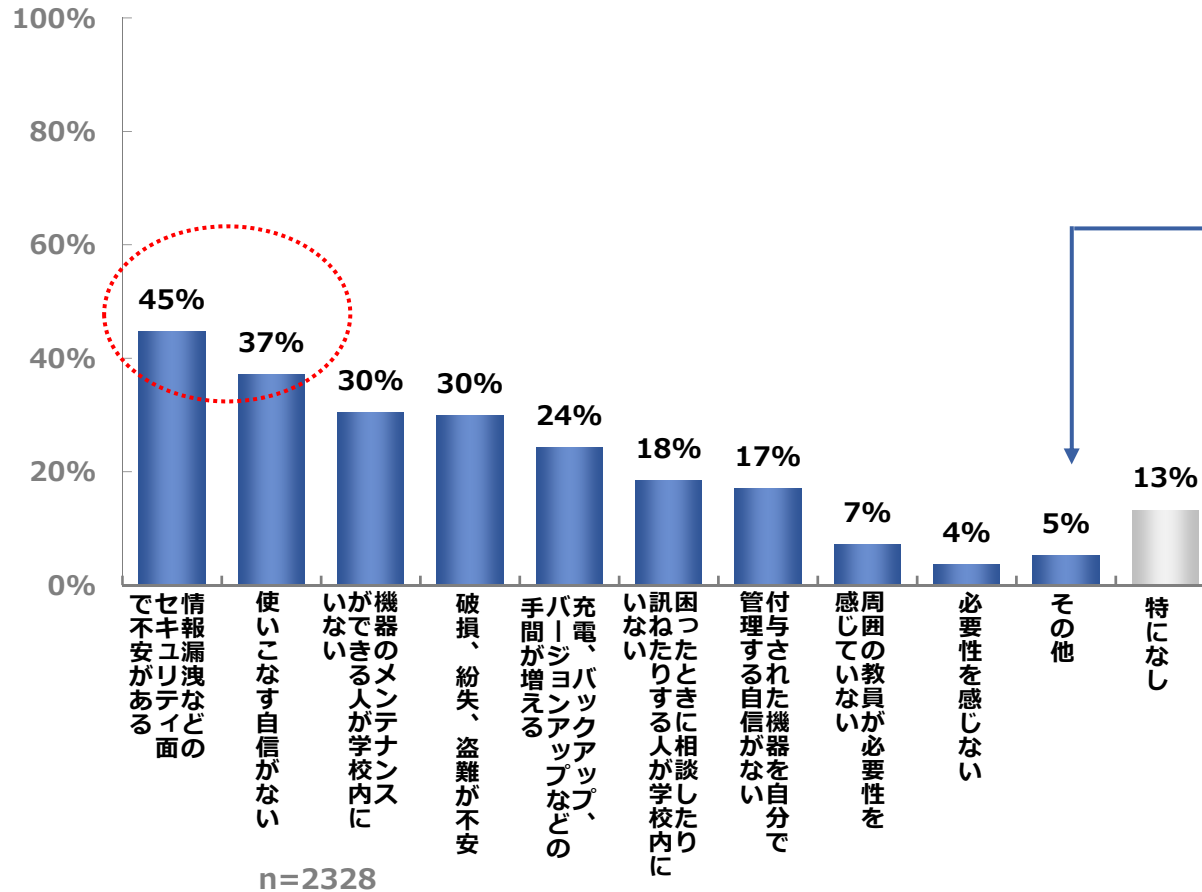
n=2328

ICTを活用することに対する不安

全回答者

- 情報漏洩などのセキュリティ面で不安がある **45%**
- 使いこなす自信がない **37%**

Q.文部科学省から「ICT環境の整備」の方針が出されていますが、学校でのICT機器の導入や活用について、困りそうなことや、活用が難しそうだと思うことがあればすべてお選びください。（いくつでも）



その他 ※全119コメントから抜粋

- 【機器・環境の不十分さへの不安】**
 - ICT機器の数が足りず、取り合いになる
 - ネット環境が悪い。不便の一言
 - 学校で何が必要かをわかっていない者が設定する変な制限
- 【負担増への不安】**
 - 特定の教員に管理等の負担がかかる
 - かえて手間がかからないかが心配
 - 教員ではない専門の人を配置すべき
- 【予算への不安】**
 - 市や学校に予算がないこと
 - 予算が中途半端なため、機器が少なくかえて使いづらい
- 【ICT化の流れへの抵抗感】**
 - ICT=正義のような流れになっていることにかえて不安と不満を覚える
 - 流行に流されるより、オーソドックスな授業法をもっと深化させた方が有効だと思うから
 - 知ってる者が偉い、という雰囲気嫌。PCしかできないような若い者に頭を下げてまで習いたいとは思わない

教職への思い/改革意識

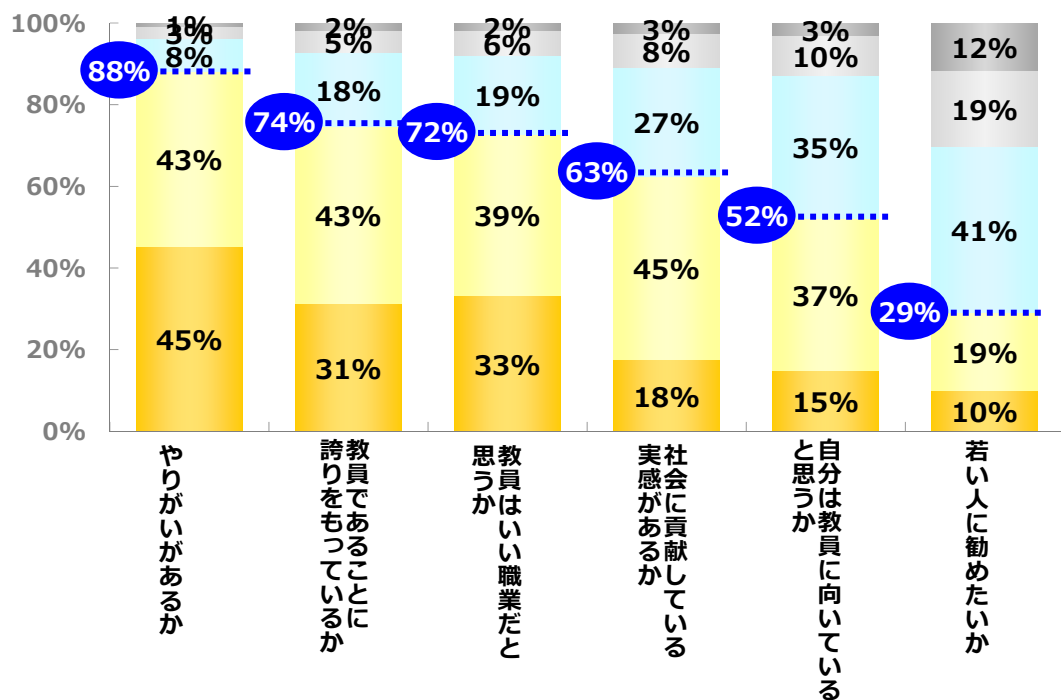
全回答者

- やりがいがあり、誇りがある 一方で、若い人に勧めたいといえない
- 教員の働き方を変えたい **83%**

教職への思い

Q. 教員という職業について感じていることをお答えください。

■ 非常にそう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ まったくそう思わない

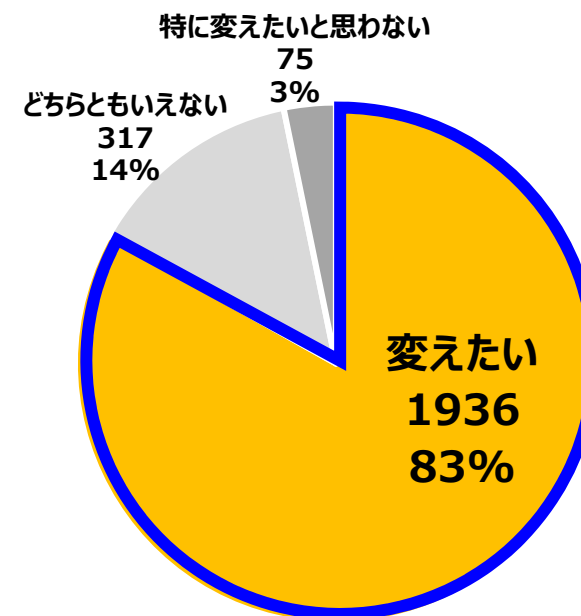


n=2328

改革意識

Q. 「教員の長時間労働」が問題となっていますが、あなた自身を含め、教員の働き方を変えたいと思いますか。

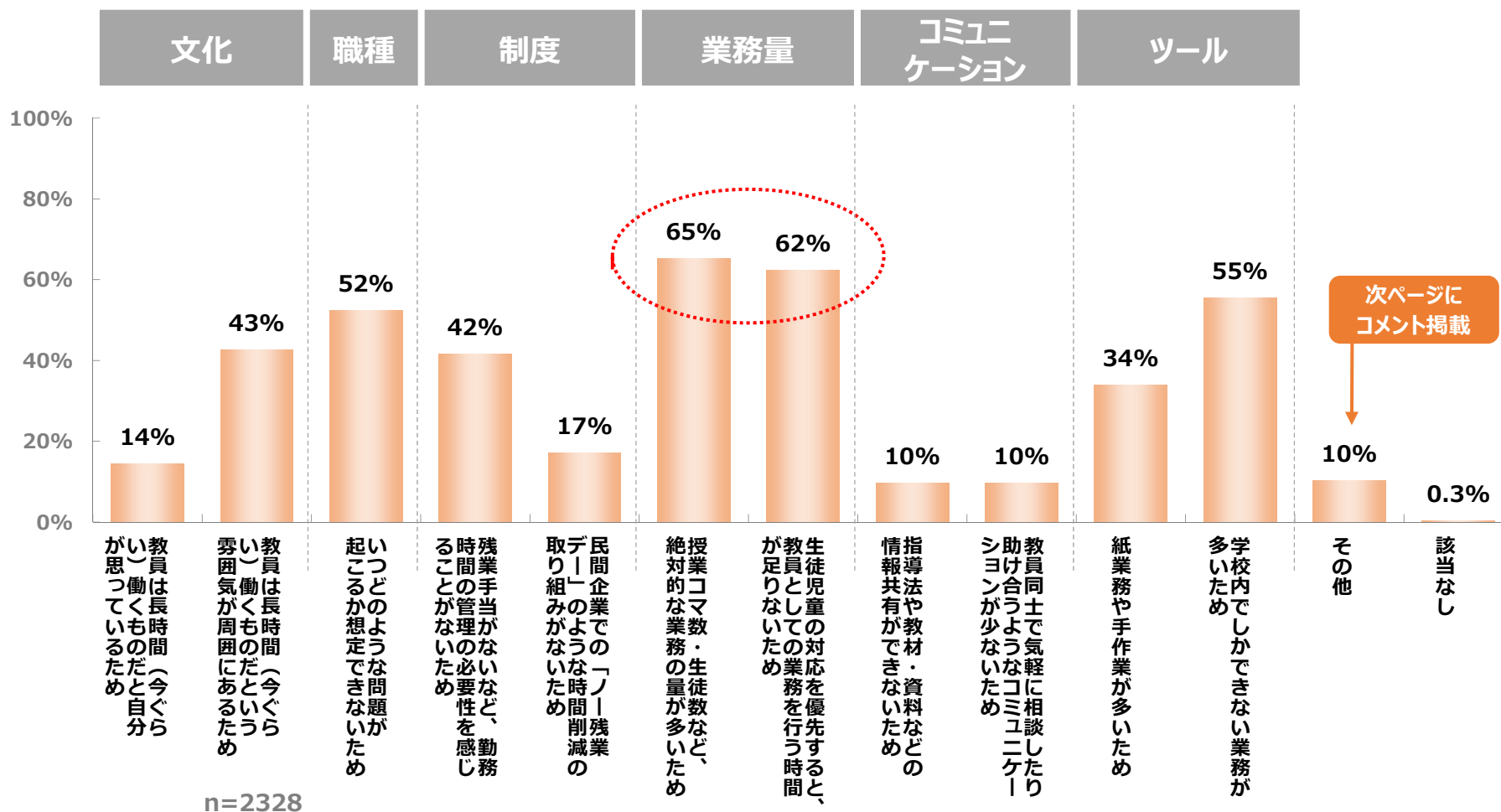
※実現性は抜きにしてお答えください。



業務の改善が難しい理由

全回答者

- 授業コマ数・児童生徒数など、絶対的な業務量が多いため **65%**
- 児童生徒を優先すると、教員としての業務時間が足りない **62%**

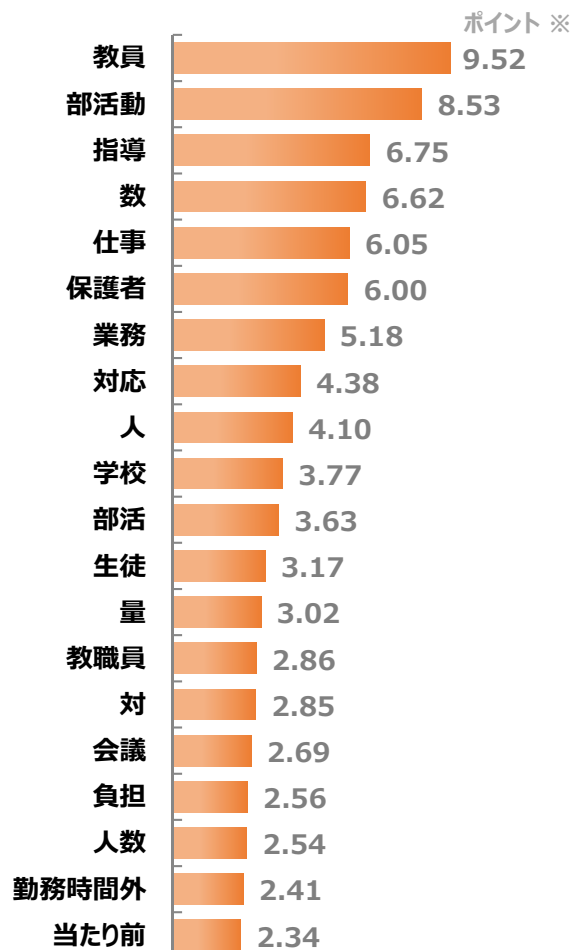


業務の改善が難しい理由

※前ページの「その他」に記入されたコメントです。

全回答者

キーワード（名詞）重要度 TOP20



※「出現頻度」「関連キーワード数」から重要度をポイント化（テキスト分析ツール「トレンドサーチ2008」による）

コメント抜粋

※全227コメントから抜粋

【教員】【数】

- ・教員数が足りていない
- ・絶対的な教員数が足りていない
- ・人手がたりない！もっと、教員の数を増やすべき！
- ・学校に対するニーズは増えるのに、それに対応する教員の人数が少ない
- ・教員の数が足りないのに、授業数は確保、新しくやるべきことは増えていく現状では改善は難しい

【部活動】【指導】

- ・部活動での拘束時間が長すぎる
- ・部活動顧問を担当する限り、放課後・土日祝など思い通りには絶対にならないから
- ・部活動の指導は教員がやるものだという雰囲気が周囲にあるため
- ・部活指導があるかぎり人間らしい生活はできません
- ・部活動指導 授業以外の公務やアンケート、調査が多いため

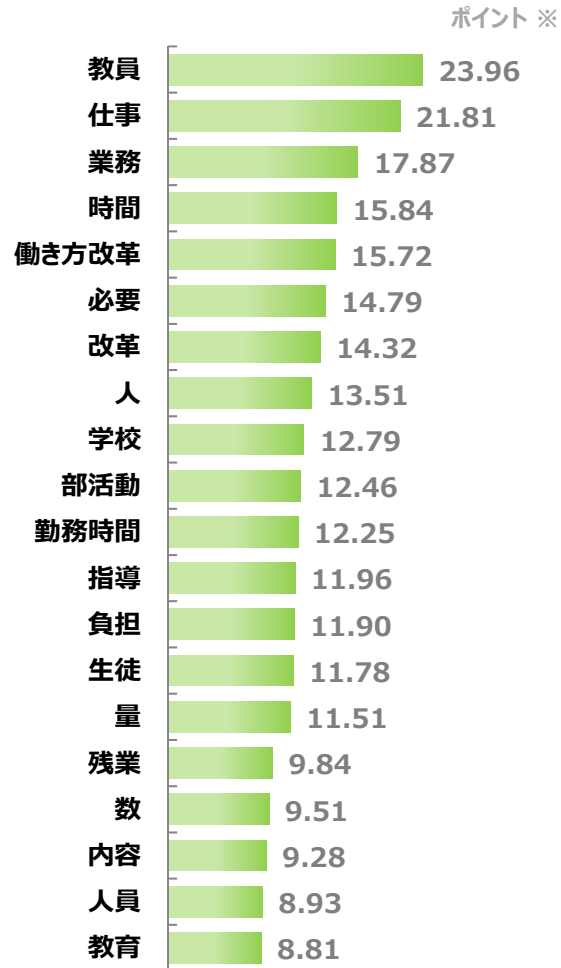
【保護者】

- ・保護者の理解が得られない
- ・保護者が「学校はいつでも対応して当然だ」という考えを持っている
- ・保護者への連絡が時間外となるため
- ・仕事を持っている保護者も多く、保護者との連絡・懇談・不登校対応での家庭訪問など勤務時間外を指定されることも多い

【仕事】

- ・仕事の絶対量が多い
- ・特定の人に仕事が集中しているため
- ・仕事をする教員としない教員がいるため、一部の教員に仕事がかたよる。それを管理職が容認しているため
- ・仕事をやる人のところに、仕事がたまりすぎている。ほぼ何もしないひとも多い。分掌やクラブ、担任など、仕事量トータルでコマ数も決めるべき

キーワード（名詞）重要度 TOP20



※「出現頻度」「関連キーワード数」から重要度をポイント化
 (テキスト分析ツール「トレンドサーチ2008」による)

コメント抜粋

※全864コメントから抜粋

【教員】【人員】

- ・教員を増やしてほしい、これにつきます
- ・働き方改革には教員の増員が必須である
- ・システムではなく教員の数を増やす
- ・人員が足りない。人を増やせば、業務が減り、働き方改革になる

【仕事】【業務】【量】

- ・仕事量が半端なく多い。本来の仕事以外のことが増えすぎ
- ・結局は仕事量が減らないので、自宅での持ち帰り残業が増え、自分の時間が取れない
- ・業務が減らないと実現は難しいかと思えます
- ・仕事の量・質に差がある。一部の教員に負担がかかることがないように配慮すべき

【時間】

- ・働く時間の削減を要求され、学校を出る時間が早くなっても、結局家でやる仕事が増えるだけである
- ・勤務時間が全てです。クラブ活動や生徒指導で早期改善が見込まれないと、やる気が起こらない
- ・勤務時間にすべて終了できる業務であるとうれしい。なおよい。会議が長すぎる

【働き方改革】

- ・働き方改革は必要だが、改革を進めるために国や県として何をしてくれるのか？ 何の手立てもなしに（人的保障やICT機器の充実等）働き方改革と言われても困る
- ・働き方改革を謳いながら業務を増やしている傾向が強い
- ・教職員の働き方改革以前の問題として、人員と給料を増やしてほしいです

【必要】

- ・生徒への関わりは経験を積まないといけない。時間をかけることが必要な内容は減らさなくて、必要があまりない部分は削減する必要がある。また、勤務の内容に見合う給与の引き上げを求める
- ・教員一人ひとりが勤務時間というものに対する意識を高める必要がある
- ・社会全体の改革が必要。周りの認知も重要だと感じる

時間の使い方（属性別平均）

属性別

		回答数	学校に来る・出るタイミング		学校滞在時間 ^{※2}	土日祝日の休養率	有給休暇取得日数	年間の休日数 ^{※3}	
			業務開始前	業務終了後					
全回答者		2,328	56分前	2時間04分後	10時間47分	63%	8.5日	81.9日	
学校種別	小学校	932	57分前	2時間03分後	10時間47分	78%	9.7日	101.5日	
	中学校	545	55分前	2時間15分後	10時間57分	44%	6.6日	58.5日	
	高等学校（全日制）	623	56分前	2時間05分後	10時間46分	49%	8.2日	66.1日	
	高等学校（定時制・通信制）	31	49分前	1時間27分後	10時間01分	73%	9.3日	94.2日	
	中等教育学校 ※1	2	1時間00分前	2時間15分後	11時間00分	50%	2.0日	60.5日	
	特別支援学校	194	58分前	1時間45分後	10時間31分	79%	9.4日	102.1日	
	その他 ※1	1	1時間30分前	2時間00分後	11時間15分	75%	12.0日	99.8日	
部活顧問	顧問あり全体	1,128	54分前	2時間08分後	10時間47分	48%	8.1日	64.3日	
	顧問の詳細	運動部の主顧問	362	1時間00分前	2時間2分後	11時間08分	30%	7.0日	42.0日
		運動部の副顧問	495	52分前	2時間03分後	10時間40分	52%	8.6日	68.9日
		文化部の主顧問	256	51分前	2時間03分後	10時間40分	58%	8.2日	76.5日
		文化部の副顧問	274	50分前	1時間53分後	10時間28分	64%	9.0日	83.7日
なし	1,200	59分前	2時間01分後	10時間48分	76%	8.9日	98.4日		
役職	管理職	292	1時間19分前	2時間28分後	11時間32分	62%	4.2日	76.3日	
	常勤の教員	1,988	53分前	2時間02分後	10時間40分	63%	9.2日	82.4日	
	非常勤の教員	48	45分前	1時間13分後	-	76%	6.5日	94.9日	
担当	担当している	992	57分前	2時間06分後	10時間49分	63%	8.8日	82.5日	
	していない	1,336	56分前	2時間03分後	10時間46分	62%	8.3日	81.4日	
担任	主担任	1,079	55分前	2時間10分後	10時間50分	62%	9.2日	81.6日	
	副担任	431	51分前	1時間54分後	10時間31分	60%	8.9日	79.2日	
	していない	818	1時間01分前	2時間02分後	10時間52分	65%	7.4日	83.5日	

※1 学校種別の「中等教育学校」「その他」は課回答数が少ないため参考値 ※2 非常勤の教員をのぞく ※3 1年の土日祝日を2018年の117日として算出

時間の使い方（属性別平均）

属性別

		回答数	学校に来る・出るタイミング		学校滞在時間 ^{※2}	土日祝日の休養率	有給休暇取得日数	年間の休日数							
			業務開始前	業務終了後											
全回答者		2,328	56分前	2時間04分後	10時間47分	63%	8.5日	81.9日							
学校種別	小学校	932	57分前	2時間03分後	10時間47分	78%	9.7日	101.5日							
	中学校	部活動顧問の影響（中学 8割、高校 9割 が「顧問あり」） ⇒ 顧問側を分析													
	高等学校（全日制）														
	高等学校（定時制・通信制）								31	49分前	1時間27分後	10時間01分	73%	9.3日	94.2日
	中等教育学校 ※1	2	1時間00分前	2時間15分後	11時間00分	50%	2.0日	60.5日							
	特別支援学校	194	58分前	1時間45分後	10時間31分	79%	9.4日	102.1日							
	その他 ※1	1	1時間30分前	2時間00分後	11時間15分	75%	12.0日	99.8日							
部活動顧問	顧問あり全体		「顧問あり」の特徴 ⇒ 次ページ以降												
	顧問の詳細	運動部の主顧問													
		運動部の副顧問													
		文化部の主顧問													
		文化部の副顧問													
なし															
役職	管理職		「管理職」の特徴 ⇒ 次ページ以降												
	常勤の教員								1,988	53分前	2時間02分後	10時間40分	63%	9.2日	82.4日
	非常勤の教員								48	45分前	1時間13分後	-	76%	6.5日	94.9日
担当	担当している		992	57分前	2時間06分後	10時間49分	63%	8.8日	82.5日						
	していない		1,336	56分前	2時間03分後	10時間46分	62%	8.3日	81.4日						
担任	主担任		1,079	55分前	2時間10分後	10時間50分	62%	9.2日	81.6日						
	副担任		431	51分前	1時間54分後	10時間31分	60%	8.9日	79.2日						
	していない		818	1時間01分前	2時間02分後	10時間52分	65%	7.4日	83.5日						

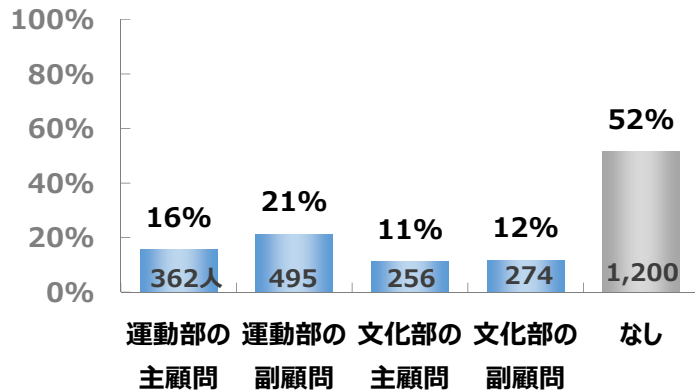
※1 学校種別の「中等教育学校」「その他」は課回答数が少ないため参考値 ※2 非常勤の教員をのぞいて計算しています

勤務時間外の部活動・クラブ活動

部活動顧問あり

顧問の有無

n=2328



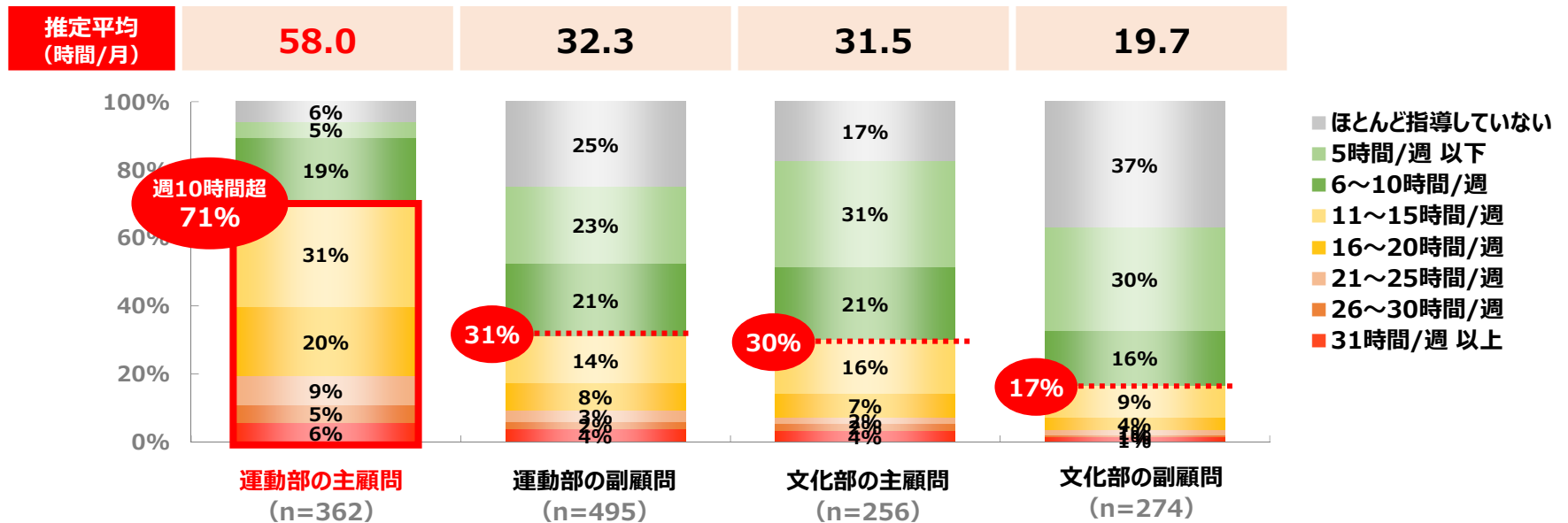
運動部の主顧問をもつ教員

勤務時間外の部活動・クラブ活動

- 週10時間超 **71%**
- 月の推定平均 **58.0時間**

勤務時間外の部活動・クラブ活動

Q. 顧問をしている方に、通常授業のある1週間（月曜日～日曜日）についてお伺いします。
勤務時間外に、週あたり平均何時間程度「部活動・クラブ活動」を行っていますか。

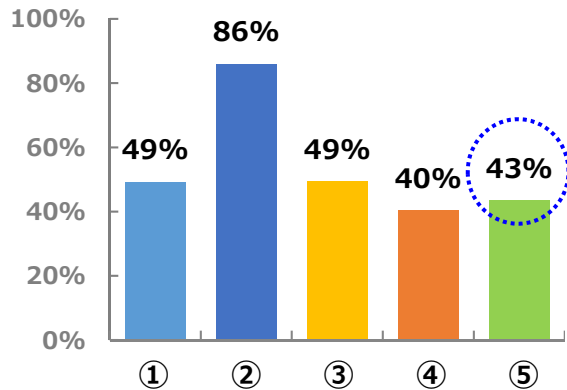


部活動・クラブ活動について（時間/負担感ほか）

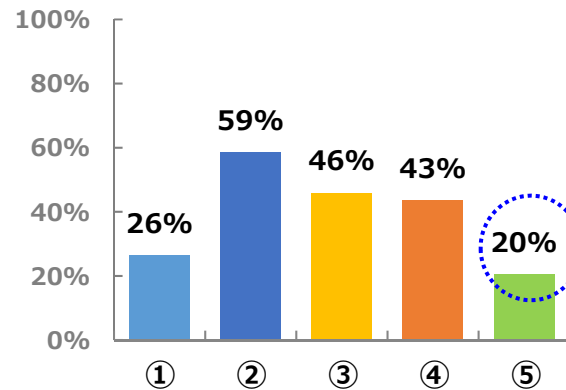
部活動顧問あり

➤ 負担となっているが、力を入れたいと思う先生もいる（顧問総合 27%）

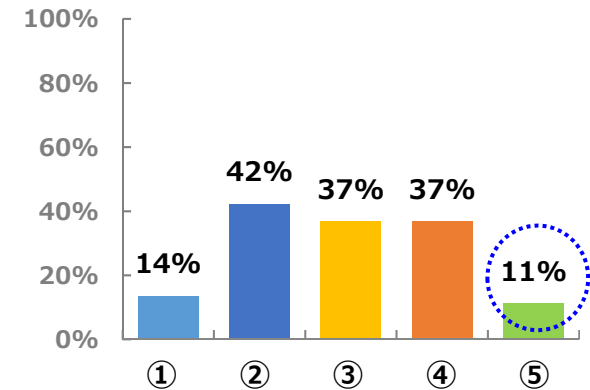
運動部の主顧問（n=362）



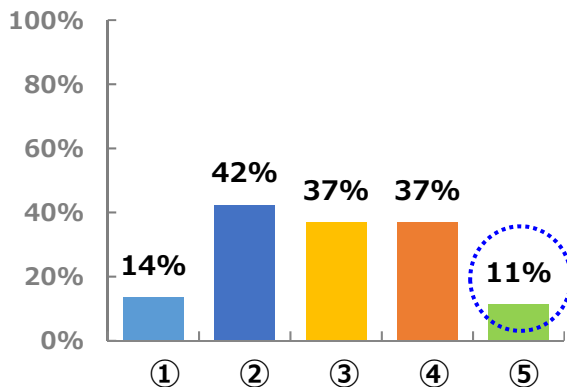
運動部の副顧問（n=495）



文化部の主顧問（n=256）

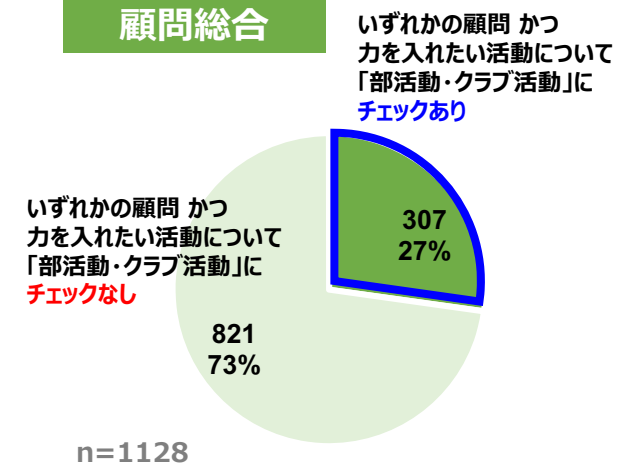


文化部の副顧問（n=274）



- ① 長時間の活動（勤務時間内）
- ② 長時間の活動（勤務時間外）
- ③ 負担を感じている活動
- ④ 時間を減らしたい活動
- ⑤ 力を入れたい・時間をかけたい活動

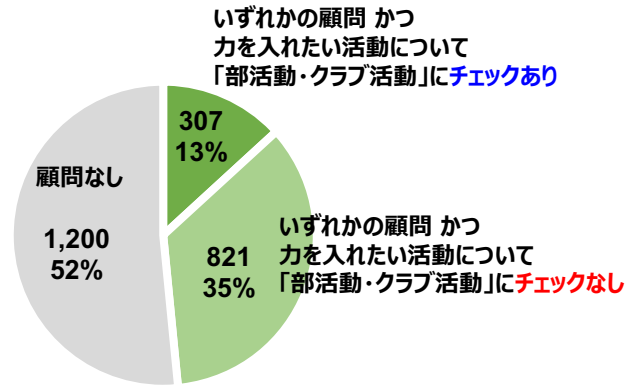
顧問総合



部活動・クラブ活動への考え方と時間の使い方

クロス集計
(部活動への考え方別)

部活動・クラブ活動への考え方



n=2328

部活動に力を入れたい顧問

- 勤務時間外の部活動時間 **51.6時間/月**
- 年間休日数※ **46.7日**

※1年の土日祝日を2018年の117日として算出

	回答数	学校に来る・出るタイミング		時間外の 部活動 時間	土日祝日 の休養率	有給休暇取 得日数	年間の 休日数 ※
		業務開始 前	業務終了 後				
全回答者	2328	57分前	2時間03分後	37.9時間/月	62%	8.5日	81.8日
部活動に力を入れたい顧問	307	57分前	2時間16分後	51.6時間/月	34%	6.9日	46.7日
部活動に力を入れたくない顧問	821	52分前	2時間04分後	32.8時間/月	53%	8.5日	70.8日
顧問なし	1200	59分前	2時間01分後	—	76%	8.9	98.4

長時間の活動（勤務時間内）

クロス集計
(部活動への考え方別)

時間をかけている活動の特徴

部活動に力を入れたい顧問

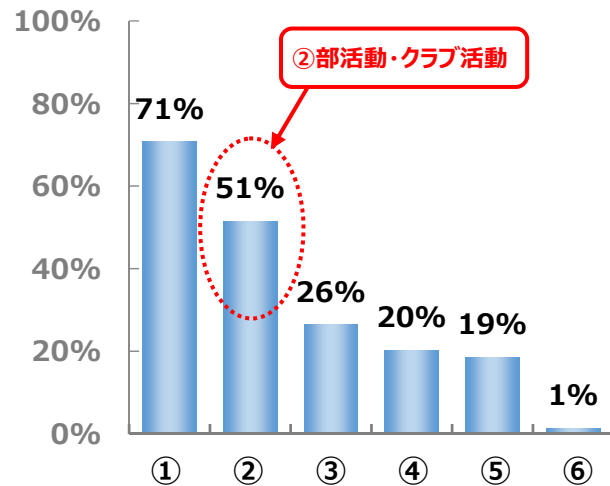
➤ 部活動・クラブ活動

顧問なし

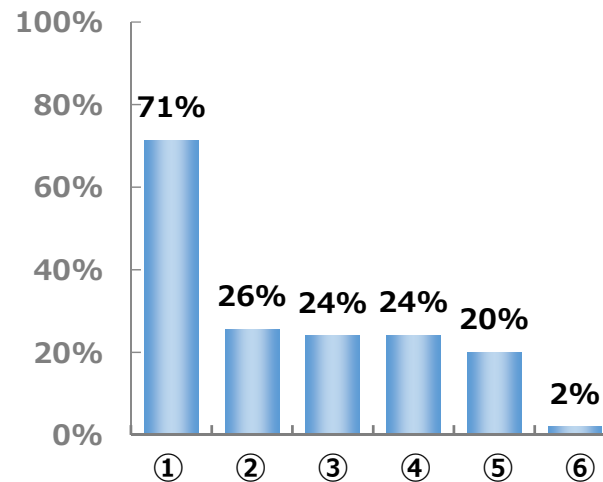
➤ 会議・打ち合わせ、事務・報告書作成

Q.勤務時間内に、授業以外で行っている活動で、かけている時間が長いものを上位3つまでお答えください。

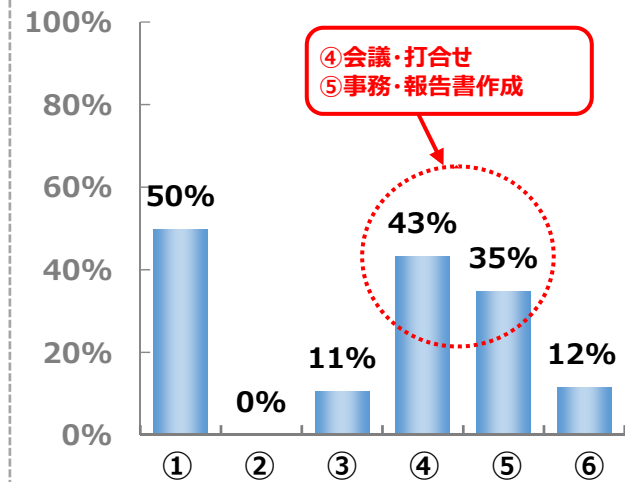
部活動に力を入れたい顧問
(n=307)



部活動に力を入れない顧問
(n=821)



顧問なし
(n=1200)



- ① 授業や学級活動の準備 (教材研究等)
- ② 部活動・クラブ活動
- ③ 生活指導・生徒指導
- ④ 会議・打合せ
- ⑤ 事務・報告書作成
- ⑥ PTA・地域・行政・関係団体対応

長時間の活動（勤務時間外）

クロス集計
(部活動への考え別)

時間をかけている活動の特徴

部活動に力を入れたい顧問

➤ 部活動・クラブ活動 に集中

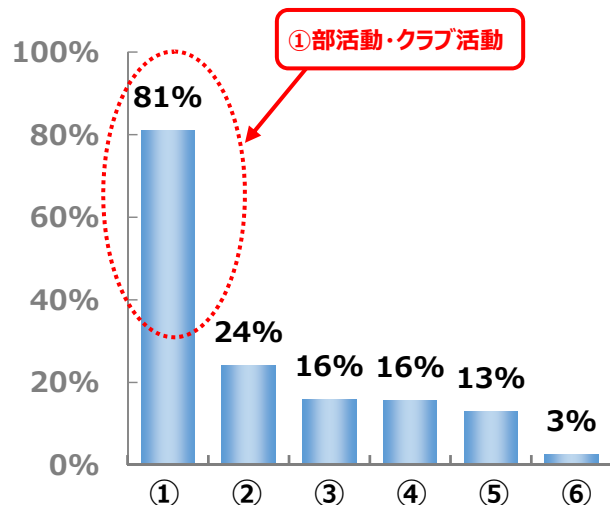
部活動に力を入れたくない顧問

顧問なし

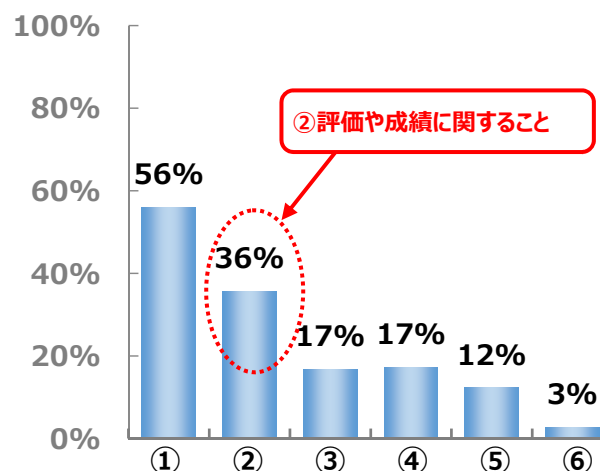
➤ 評価や成績に関すること、事務・報告書作成

Q.勤務時間外に行っている活動で、かけている時間が長いものを上位3位までお答えください。

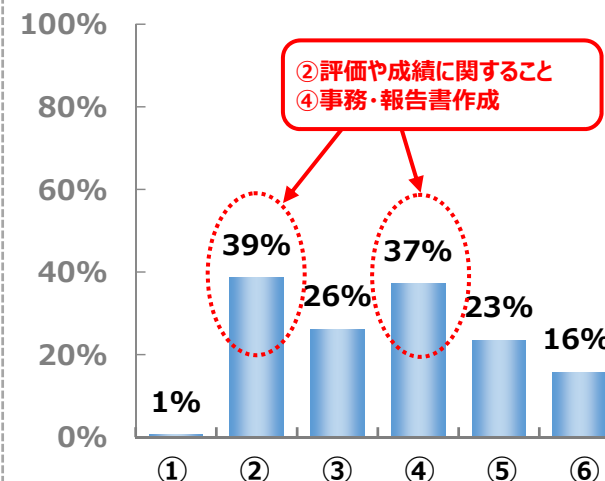
部活動に力を入れたい顧問
(n=307)



部活動に力を入れたくない顧問
(n=821)



顧問なし
(n=1200)



- ①部活動・クラブ活動 ②評価や成績に関すること（採点等を含む） ③会議・打合せ
④事務・報告書作成 ⑤学年・学級事務（連絡帳の確認、学級通信等の作成等） ⑥PTA・地域・行政・関係団体対応

負担を感じる活動

クロス集計
(部活動への考え方別)

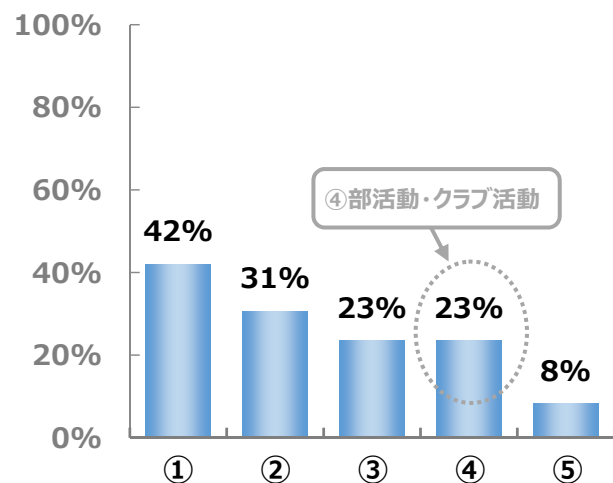
部活動・クラブ活動に負担を感じる

部活動に力を入れたい顧問 **23%**

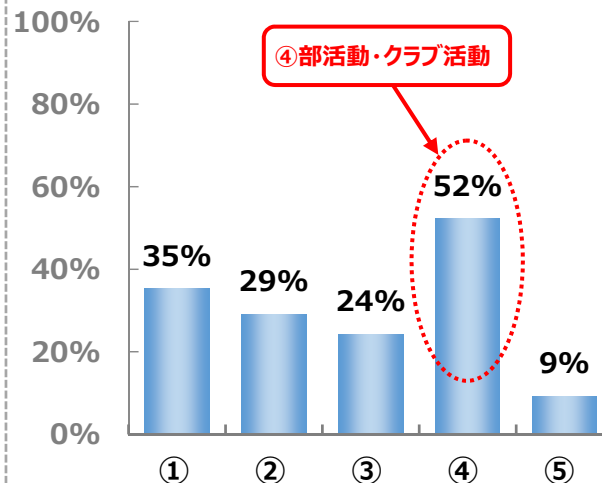
部活動に力を入れたくない顧問 **52%**

Q.授業以外で、負担を感じている活動を上位3つまでお答えください。

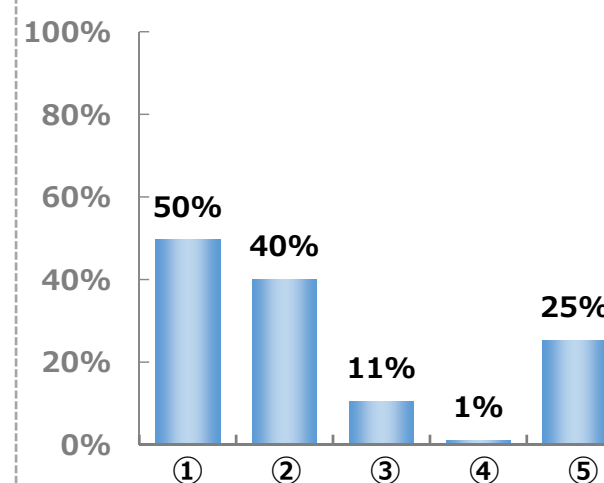
部活動に力を入れたい顧問
(n=307)



部活動に力を入れたくない顧問
(n=821)



顧問なし
(n=1200)



- ①事務・報告書作成 ②保護者対応 ③生活指導・生徒指導
④部活動・クラブ活動 ⑤PTA・地域・行政・関係団体対応

力を入れたいこと、時間を増やしたいこと

クロス集計
(部活動への考え方別)

他と比べてやや高めの項目 ※部活動・クラブ活動以外

部活動に力を入れたい顧問

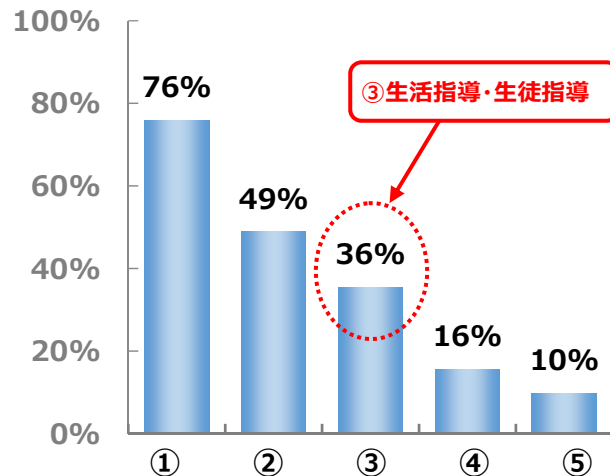
➤ 生活指導・生徒指導

部活動に力を入れたくない顧問

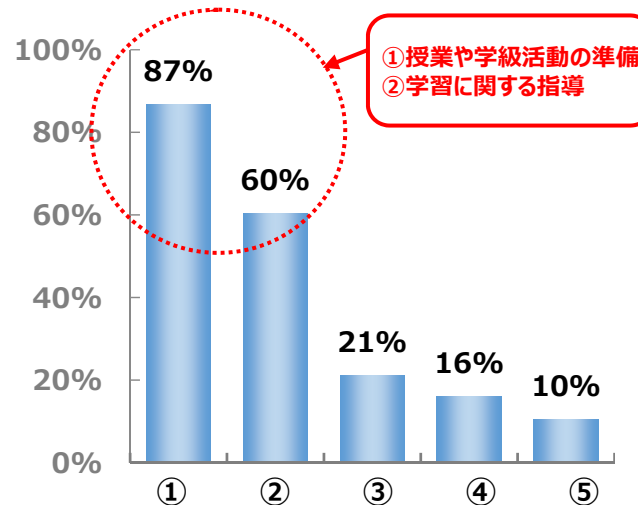
➤ 授業や学級活動の準備、学習に関する指導

Q.下記のうち、あなたが力を入れたい、もっと時間をかけたいと思う活動をすべてお選びください。

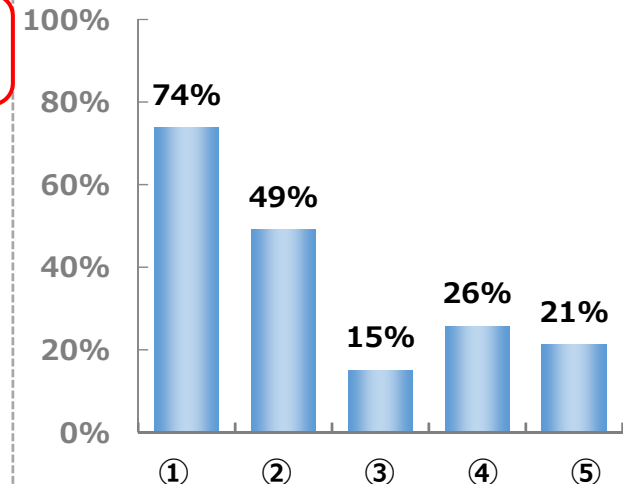
部活動に力を入れたい顧問
(n=307)



部活動に力を入れたくない顧問
(n=821)



顧問なし
(n=1200)



- ①授業や学級活動の準備 (教材研究等) ②学習に関する指導 ③生活指導・生徒指導
④学校経営 (校務分掌に関する事) ⑤校内研修

私物機器・個人向けサービスの業務利用状況

クロス集計
(部活動への考え方別)

私物・個人向けサービスの業務利用率

部活動に力を入れたい顧問



部活動に力を入れたくない顧問

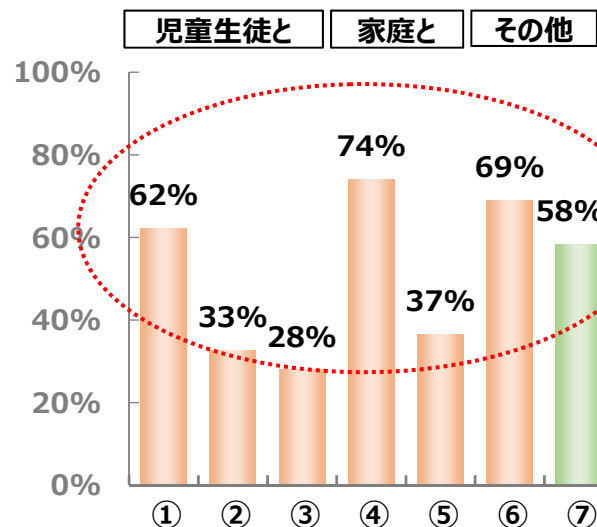


顧問なし

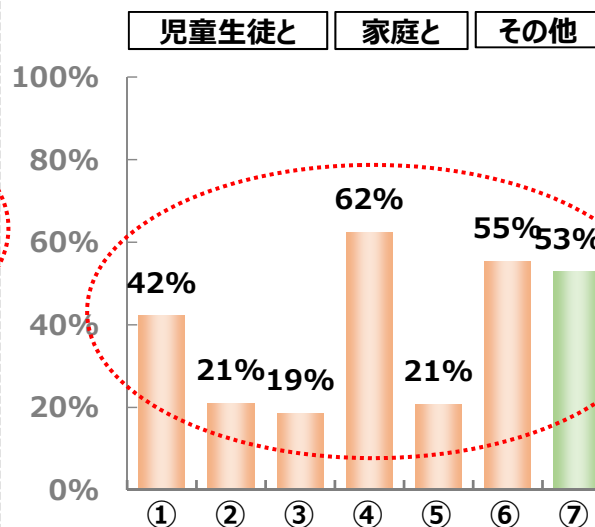
Q.私物の機器を業務利用する際の内容をすべてお選びください。

Q.下記の各種サービスのうち、個人のアカウントで業務に活用しているものがあればすべてお選びください。

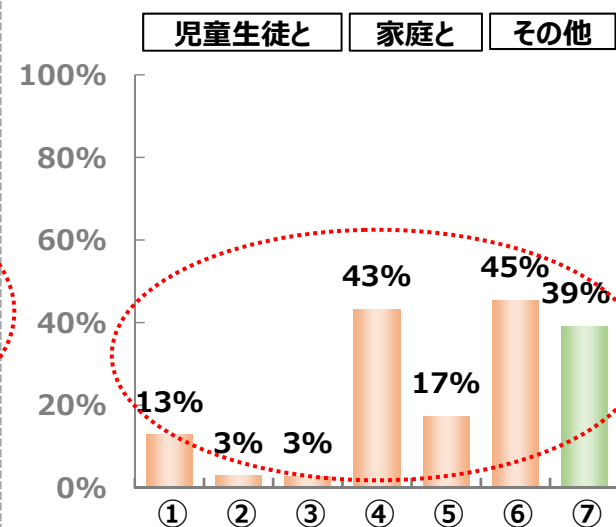
部活動に力を入れたい顧問
(n=307)



部活動に力を入れたくない顧問
(n=821)



顧問なし
(n=1200)



①電話での連絡（児童生徒と） ②メールでの連絡（児童生徒と） ③SNSでの連絡（児童生徒と）

④電話での連絡（家庭と） ⑤メールでの連絡（家庭と） ⑥校外の関係者への連絡 ⑦個人のメールアドレス

意識改革

クロス集計
(部活動への考え方別)

部活動に力を入れたい顧問

改革意識がやや低い

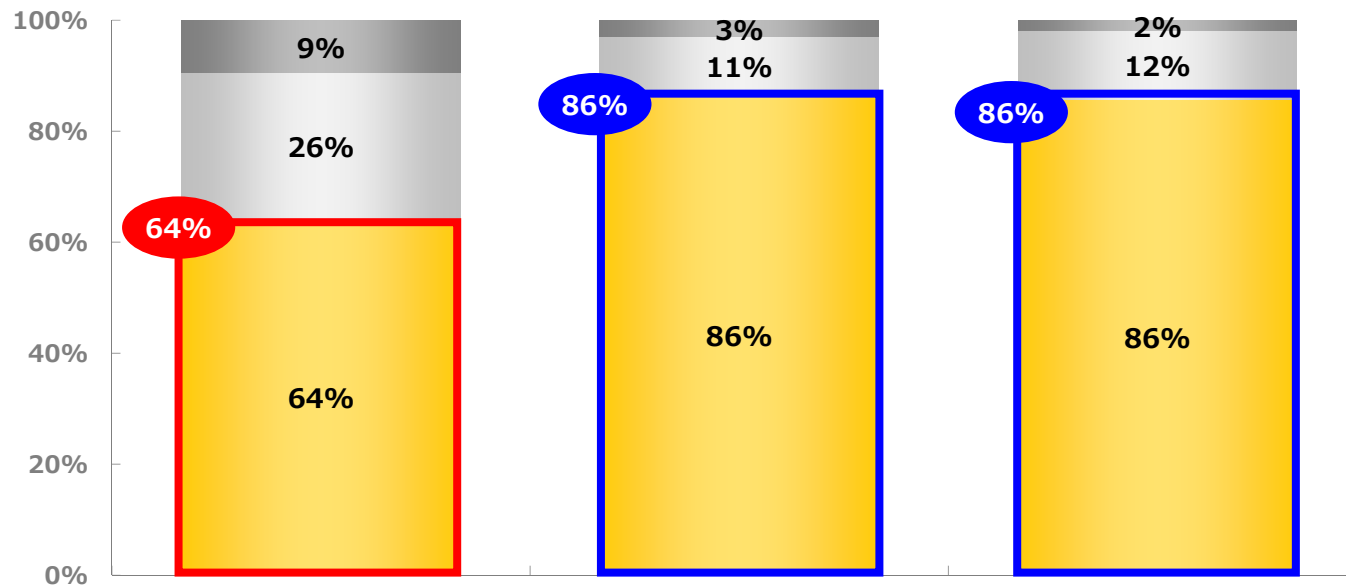
Q. 「教員の長時間労働」が問題となっていますが、あなた自身を含め、教員の働き方を変えたいと思いますか。

部活動に力を入れたい顧問
(n=307)

部活動に力を入れたくない顧問
(n=821)

顧問なし
(n=1200)

■ 変えたい ■ どちらともいえない ■ 特に変えたいと思わない



部活動に関するコメント抜粋

Q. 教員の働き方改革について、意見・要望をご自由にお書きください。

部活動に力を入れたい顧問

部活動＝生徒との重要なつながり

- 部活動については負担である部分もあるが、**生徒を引っ張っていく非常に重要な取り組み**であるともとらえています。ただ、時間を割く業務であることも事実で、部活動にしっかりと取り組める環境づくりをしていただきたいと思います
- 部活動を民営化するなどの意見も出ていますが、**部活だからこそ生徒と深く関われる**こともあると思います。日々の教室での関わり授業内での関わりでは生徒に本当の意味で気づかせるのは難しい。だからこそ、教員として部活はひとつの生徒の心に火をつけるツールです。
- 部活動の指導に外部の経験者を入れ、教員の負担を減らすとされているが、生徒指導における部活動の持っている重みを考えずに、単に教師の時間的な負担を減らすための措置として安易に導入が考えられていると思う。**教師と生徒のつながりという意味における部活動の重要性**を余りにも軽視しているこの風潮に対して、現場のことを理解していない増えることでなかなか時間が削減できていないのかなと感じます

部活動＝教師として当然の仕事

- **教科指導、部活、保護者対応すべて含めて教員だ**と思っているので、**現在の働き方改革は一向に受け入れることはできません**。本気で毎日17時に帰れるとも思ってますか？その人はきっと教員ではないでしょう
- 教員である以上、授業や教材研究、児童生徒や保護者対応にかかる時間は必要。現場は部活動も含め様々な角度から生徒を支援している。それを働き方改革などというつまらないもので**生徒と向き合う時間を奪わないでほしい**
- **長時間勤務も休日の部活動指導も**することは構わないし、**教員の仕事だ**と思っていますが、それに見合った**残業代や賃金**がないというのを改善してほしいです

部活動指導手当の要望 ほか

- 部活動などは、外部指導者の導入なども必要だと思うが、地域によっては指導員のなり手がいないなどの問題がある。**部活動指導の手当をもっと増やすしか方法はないか**と思う
- 働き方改革にて、運動部活動の活動時間削減によって、教職員の労働時間は少し減少したと感じますが、**各学校に配当できる教職員の数が少ない**ため、結局一人に当てられる仕事の数が多くなり、勤務時間外での作業が増えることでなかなか時間が削減できていないのかなと感じます

部活動に関するコメント抜粋

Q. 教員の働き方改革について、意見・要望をご自由にお書きください。

部活動に力を入れたくない顧問

校務から外してほしい

- 部活動が負担。すべて外部に任せるべきである
- 部活動を学校から完全に切り離す（運営を別にする）だけで大きく変わると思います
- 部活動について、引率等も外部人材のみで可能にしてほしい
- 長年過労死レベルの残業をし続けて体がボロボロです。人間らしい生活がしたいので部活指導を希望制にしてほしいです
- 勤務時間外に部活動終了時刻が設定されていることがおかしい。もっと言えば、顧問を希望制にするか、部活動自体を外部化すべき。学校行事も研修も出張も多いし、負担ばかり。もっと具体的に業務の削減案を出すべき

ガイドラインの徹底の要望

- 部活動の負担は大きい。全部活動で週2日の休日が守られていない
- 部活動のガイドラインは出ただけで、実質は守られていない現状で意味をなしていない。きちんと通達をして守らせる処置をしてください
- 文科省やスポーツ庁から出された部活動の在り方については、守られていない状況です。もっと調査を強化して徹底しないといけません。外見上だけで、中身はまったく改善されていません。罰則がないと守れないようであれば、教員として情けない限りです
- 改革を進めるにあたり、ノー残業デーや部活動に関する指針が出されたが、徹底がなされていない、生徒のことを考えると現実的に無理な事も多いように思う。また各先生の負担が減らないのに勤務時間を減らせるわけがないと強く意見したい

部活動指導手当の要望 ほか

- 部活動指導手当での増額を望みます
- 部活動の顧問で、勤務時間を超えたり休日出勤をした場合には、残業手当や休日出勤手当を充実させてほしい。部活動は教育効果の高い取り組みであると思うので、それを担う教員への手当が支払われることは当然のことである
- 部活動をして育ってきながら申し訳ない気持ちもあるが、部活動は教えたい、やりたい教員だけが顧問を担当すればいいと思います

管理職の特徴

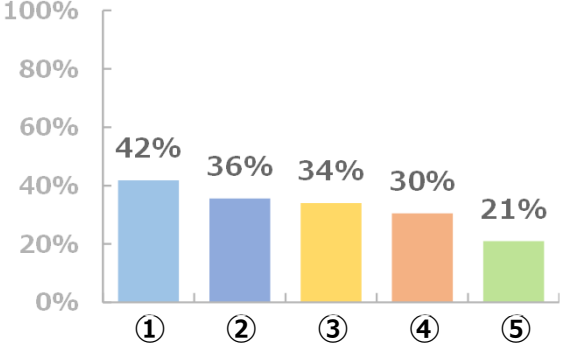
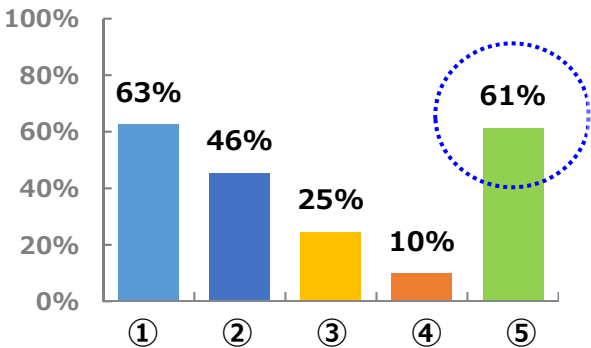
管理職

- 学校経営に力を入れたい
- PTA・地域・行政・関係団体対応が負担となっている

学校経営（校務分掌に関すること）について

管理職（n=292）

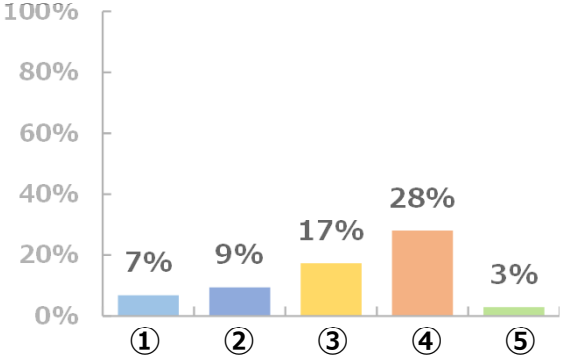
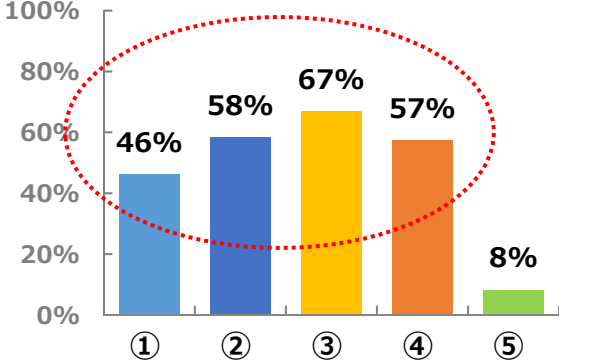
全回答者（n=2328）



PTA・地域・行政・関係団体対応 について

管理職（n=292）

全回答者（n=2328）

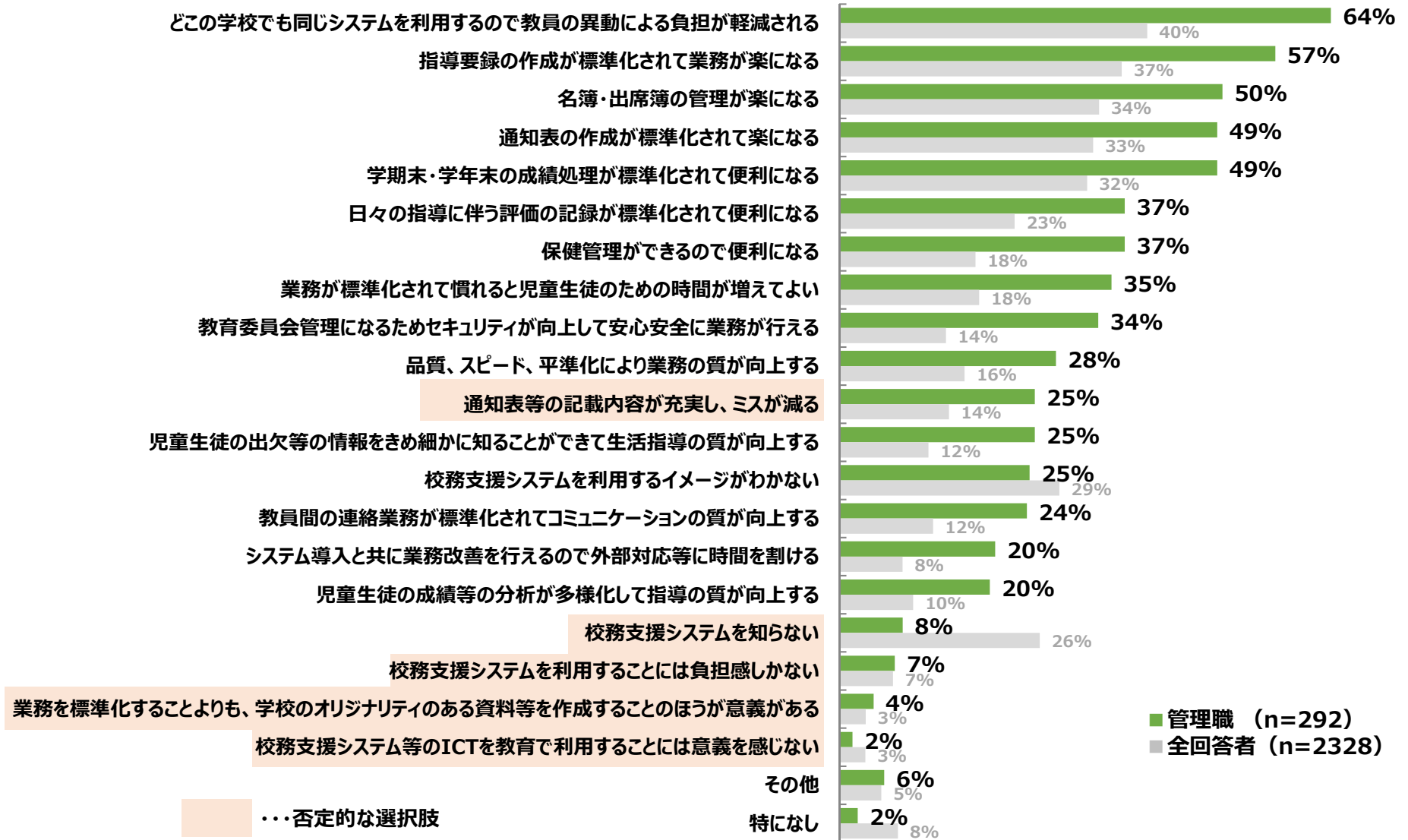


- ① 長時間の活動（勤務時間内）
- ② 長時間の活動（勤務時間外）
- ③ 負担を感じている活動
- ④ 時間を減らしたい活動
- ⑤ 力を入れたい・時間をかけたい活動

統合型校務支援システムへの期待・不安

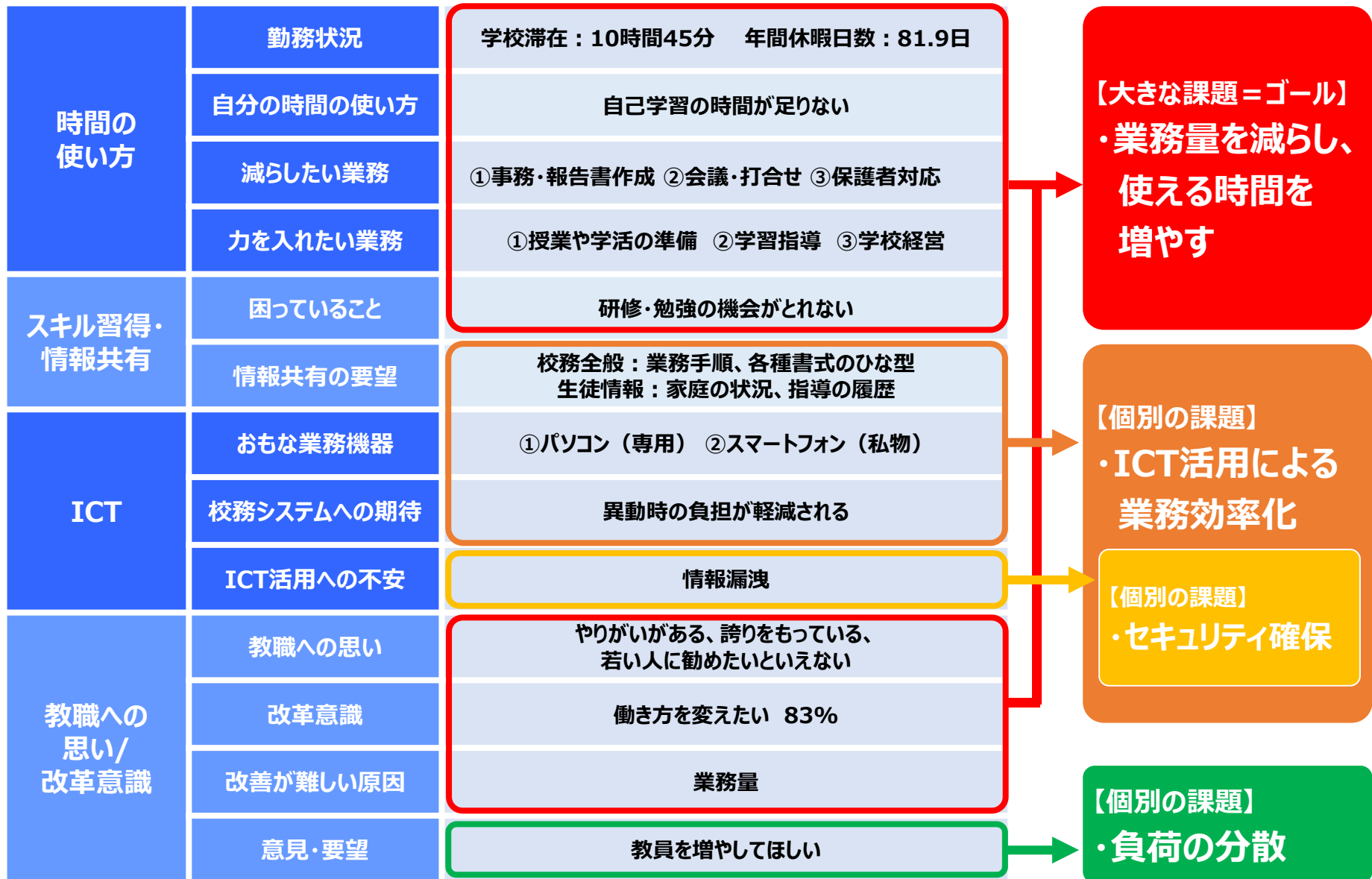
管理職

➤ 期待感の項目について、全体集計よりも20ポイント前後高い



…否定的な選択肢

課題の整理



課題の整理

属性別

部活顧問

勤務時間外の部活動・クラブ活動		運動部の主顧問が特に長い（58時間/月）
部活への考え方		部活に力を入れたい 27%
部活に力を入れたい顧問の特徴	時間の使い方	部活動の時間が長く / 成績・評価に関する時間が短い
	セキュリティリスク	私物機器・個人向けサービスの業務利用率が高い
	改革意識	やや低い
	代表的コメント	部活は生徒とのつながり、部活指導は教員の仕事

管理職

力を入れたい業務	学校経営（校務分掌に関すること）
負担となっている業務	PTA・地域・行政・関係団体対応
校務システムへの期待	期待が高い

・「週2日休み」の徹底
・部活に力を入れたい教員の意識改革
・教員の業務範囲の明確化、分担の見直し

委託事業者／ソフトバンク株式会社 法人事業戦略本部 戦略事業統括部